

願出アサル者ヲ制裁スルノ法律ニシテ其有意無意ヲ分別シテ處罰スルノ法章ニアラサルハ上告論旨ノ如クナリト雖モ本件被告人カ所爲ニ於ケル原裁判官ノ認ムル所ニ依レハ被告カ父ノ相續ヲ爲シ土地ヲ讓受ケシハ地券發行以前ニシテ其後チ地券發行ノ際亡祖父ノ名義ヲ以テ地券ヲ願受ケタルノ所爲ナレハ當時右等ノ所爲ヲ罰スル法律ナキハ勿論法律ノ既往ニ暨ホス可カラサルハ法ノ原則ニシテ其氏名ヲ換用シタル所爲ヲ罰スルヲ得ス加之土地賣買讓渡規則第五條ハ前ニ説明スル如キ者ヲ罰スル法條ニテ被告カ所爲ノ如キヲ制裁スルモノニアラサレハ原裁判官ニ於テ之レヲ罰スルノ法條ナキヲ以テ無罪ト言渡タルハ最モ適當ニシテ之レヲ擬律錯誤ナリト云フヲ得ス

土地賣買讓渡規則違反 明治十九年 第九百五十五號

若干ノ地券ヲ讓受ケ相當ノ手續ヲ爲サ、ルモノニ對シ處分スルニ於テハ併科シテ罰金ノ名稱ヲ附スヘキヤ將タ各別ニ科料ノ名

稱ヲ附スヘキヤ

長崎縣壹岐國壹岐郡箱崎村平民農山口覺治ニ對スル被告事件

初審 平 戸 支 廳

本件ノ事實被告山口覺治ハ明治十五年五月十二日亡跡相續ニ依リ讓受ケタル田畑山林宅地等分十七通ノ裏書願ヲ滿六月後石田郡役所ニ差出シタルモノニテ全十九年二月廿三日初審裁判所ニ於テ刑法第五條明治十四年第七十二號公布及ヒ土地賣買讓與規則第五條ヲ適用シ地券十七通ノ證印稅五拾壹錢ノ五倍二圓五十五錢ノ罰金ニ處スト言渡シタル裁判ニ對シ同裁判所檢察官ハ罰金ノ名稱ヲ附シテ處分シタルハ擬律ノ錯誤ナリト論シ上告シタリ刑事局ニ於テハ其上告論旨ニ基キ治罪法第四百二十九條ニ法リ原裁判言渡ヲ破毀シ刑法第五條ニ依リ明治十四年第七十二號公布及土地賣買讓渡規則第五條並明治十四年第三十號公布ニ照ラシ地券壹通ニ付證印稅三錢ノ五倍科料金

十五錢ツ、ニ處シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑モ死亡失踪者ノ家督相續若クハ遺産相續及離縁戸主等ノ家督相續ニ依リ讓受ケタル地券ヲ六ヶ月内ニ書換又ハ裏書ヲ願出テサルノ罪ハ其券狀壹通毎ニ成立スルモノナルヤ土地賣買讓渡規則第五條ニ照シ明ナルヲ以テ其壹通ノ證印稅三錢ノ五倍十五錢ノ料ヲ科スヘキモノトス然レハ被告人カ亡踪相續ニ依リ讓受ケタル地券ノ裏書ヲ乞ハサリシハ十七通ニシテ其證印稅通計五十壹錢ノ五倍貳圓五十五錢ヲ科スヘキモノナルニモセヨ原ト違警罪ノ刑ヲ通計シテ輕罪ノ範圍ニ入ルトテ輕罪ノ名稱ヲ付シ得ヘカラサルモノナレハ到底科料金ニ處スヘキニ過キサルニ原裁判茲ニ出テス輕罪ノ範圍ニ入リタルトテ罰金ニ處シタルハ上告論旨ノ如ク擬律ニ錯誤アル失當ノ裁判ナルヲ以テ破毀スヘキモノト裁定ス

隱田切開切添地處分規則違犯 明治十九年
乙第四百八十五號

公租不納ノ爲メ官有ニ歸シタル田地ヲ私ニ耕シタルモノハ之ヲ罰スルノ法條ナキヤ否

大分縣豊前國下毛郡諸田村平民農寺岡傳七ニ對スル被告事件

初審 中 津 支 廳

本件ノ事實被告寺岡傳七ハ寺岡勘米カ公租不納ノ爲メ官有地ニ編入セラレタル三筆ノ田地ヲ私ニ耕作シタルモノニテ明治十九年六月十一日初審廳ハ右被告カ所爲ニ於ケル隱田切開切添地等處分規則ニ抵触スル廉ナキモノトシ刑法第五條同第二條ニ依リ無罪ノ言渡ヲ爲シタルニ檢察官ハ被告カ所爲タル境界ハ接セサルモ官有耕地ヲ私擅ニ耕作シ官ノ占有權ヲ侵シタル者ナレハ隱田切開切添地處分規則第四條末段ト明治十四年第七十二號布告第四條ニ從ヒ處分ス可キ者ナルニ前記ノ法條ニ依リ無罪ヲ以テ論決シタルハ擬律ノ錯誤ナルヲ以テ破毀ヲ求ムト論シ上告ノ末刑事局ニ於テハ該上告ハ相立サルモノ

ト認メ棄却シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク明治九年第六拾七號布告隱田切開切添地等處分規則第四條末段ハ其前條即チ第三條ニ所謂官簿ニ記載アル地並ニ記載ナシト雖モ從來官山官林用地附屬地等ノ證アル地ヲ侵シ私ニ種目ヲ變換シ田畑宅地等ニ開墾スルカ如キ所爲ヲ制裁スルノ法規ニシテ本按原裁判官ノ認ル事實即チ被告カ官有ノ田地ヲ一時耕作シタリト云フカ如キモノヲ制裁スルノ律意ニアラサルコトハ該法文ニ徵シ歴然タリ故ニ原判官ノ此事實ヲ該規則ニ抵觸セサルモノトシ刑法第二條ノ原則ニ基キ無罪ヲ以テ論斷シタルハ相當ニシテ毫モ擬律ヲ誤リタルモノニ非ス

鳥獸獵規則及火藥取締規則違犯目錄

丁數

鳥獸獵規則ニ關スル件

- 一 無免狀ノ銃獵ニ關スル件
明七百七十八號 三七一
- 一 同上
明六百四十九號 三七二
- 一 他人ノ免狀ヲ借帶シテ銃獵シタルニ關スル件
明治十九年 三七四
- 一 銃獵免許ナキ者銃獵ノ目的ヲ以テ鳥獸ヲ擬シ未タ發砲セサルモノニ關スル件
明治十九年 三七六
- 一 火藥取締規則ニ關スル件
- 一 許可證ヲ受ケス雷管ノ賣買ヲ爲シタルニ關スル件
明治十九年 三七九
- 一 先代カ殘セシ火藥ノ屈出ヲ爲サ、リシニ關スル件
明治十九年 三八二

鳥獸獵規則違反明治十八年
第七百七拾九號

鳥獸獵規則第二條ニ違反シ使用シタル銃砲ハ犯罪ノ用ニ供シタル物件トシテ沒收スヘキモノナリヤ否

岐阜縣美濃國郡上郡初納村平民農業吉田五郎右衛門ニ對スル被告事件

初審 岐阜輕罪裁判所

本件ノ事實ハ被告五郎右衛門ニ於テ鳥獸獵規則第二條ニ違反シ無免狀ニテ銃獵ヲ爲シタルモノニシテ初審裁判所ハ右被告ノ所爲ニ對シ鳥獸獵規則第十七條ヲ適用シ被告ヲ罰金若干圓ニ處シ但書ヲ以テ差押ヘタル銃砲一挺ハ之ヲ還付スル旨言渡タルニ檢察官ニ於テハ右ノ銃砲ハ犯罪ノ用ニ供シタルモノナレハ刑法第四拾三條ニ依リ沒收スヘキモノナルニ原裁判ノ茲ニ出テサリシハ擬律錯誤ナル旨上告シタリ然レモ刑事局ニ於テハ上告ノ理由ナキモノトシテ棄却シタルモノ

ニ係ル

其理由ニ曰ク鳥獸獵規則第二條タルヤ免狀ナクシテ濫リニ銃獵スル
 一ヲ禁シタルノ法章ニシテ即チ銃砲ナクンハ該條ノ違犯ハアラサル
 ナリ故ニ該條ニ違犯シ使用シタル銃砲ハ犯則ノ物件ト云フ可キモ之
 レヲ犯罪ノ用ニ供シタル物件トハ云フヲ得可カラス然シテ該則第十
 七條ニ於ケル其銃砲ヲ沒收スル一ヲ定メサルハ恰カモ船稅規則及ヒ
 車稅規則ニ於テ其規則ニ違背スルモ船車ヲ沒收セサルカ如ク原ト只
 取締上ノ規則ニ過キサレハ之レヲ以テ刑法第四十三條ニ所謂犯罪ノ
 用ニ供シタルモノトシ沒收スヘキモノニ非サル者ナレハ原裁判還付
 ノ言渡ヲ爲シタルハ法律ノ精神ニ適當スルヲ以テ之レヲ擬律錯誤ナ
 リトノ論旨ハ相立クサルモノト裁定ス

鳥獸獵規則違犯 明治十九年
第六百四拾號

無免狀ニテ銃獵シタル者カ其用ニ供シタル物件ハ總テ刑法第五

條同第四十三條ニ照シ之ヲ沒收スヘキモノナルヤ否

大分縣豊前國下毛郡東屋形村平民岩田寅市ニ對スル被告事件

初審 中 津 支 廳

本件ノ事實ハ被告寅市ニ於テ職獵免許鑑札ヲ出願シ其未タ下付ナラ
 サル以前ニ銃獵シタルモノニテ初審裁判所ハ右被告ノ所爲ニ對シ鳥
 獸獵規則第二條第十七條ヲ適用シ刑法第八十九條第九十條第七十條
 ニ照シ原諒シテ本刑ニ一等ヲ減シ被告ヲ罰金若干圓ニ處スル旨言渡
 シタルニ檢察官ニ於テハ被告カ無免許銃獵ノ用ニ供シタル物件ハ刑
 法第五條末項ト同第四十三條第三トノ明文ニ照シ沒收スヘキモノナ
 ルニ原裁判ノ爰ニ出テサルハ不當ナル旨上告シタリ然レモ刑事局ニ
 於テハ上告ノ理由ナキモノトシテ棄却シタルモノニ係ル
 其理由ニ曰ク上告ノ理由トスル所無免許銃獵ノ用ニ供シタル物件ハ
 刑法第五條末項ト刑法第四十三條第三ノ明文ニ照シ沒收スヘキニ原

裁判ノ茲ニ出テサリシハ不當ナリト云フニ在ルモ抑モ鳥獸獵犯則ニ
係ル銃器及ヒ付屬品ノ如キハ即チ其犯罪ノ原素ニシテ所謂罪跡中ニ
包含スルモノナレハ刑法第四十三條ノ犯罪ノ用ニ供シタル物件ヲ以
テ論スヘキモノニアラス故ニ今原裁判所ニ於テ本案無免許銃獵ノ用
ニ供シタル物件ニ付沒收ノ言渡ヲ爲サ、リシハ相當ナルヲ以テ之ヲ
違法ノ裁判ト爲ステ得ス

鳥獸獵規則違犯明治十九年
第九百六拾七號

他人ノ銃獵免狀ヲ借帶シテ行獵シタル者ハ鳥銃獵規則第二條及
第四條ニ背キタル二個ノ罪アルモノトシテ處斷スヘキモノナリ
ヤ否

千葉縣下總國下道生郡東和田村平民農岩内常治ニ對スル被告事
件

初審 千葉輕罪裁判所

本件ノ事實ハ被告常治ニ於テ父某ノ鳥獸獵免狀ヲ借帶シテ行獵セシ
モノニシテ初審裁判所ハ右被告ノ所爲ヲ以テ鳥獸獵規則第二條及第
四條ニ背キタル二個ノ罪アルモノトナシ同規則第十七條及明治十四
年第七十二號布告第五條ニ照シ各三圓ノ罰金ニ處スル旨言渡シタリ
然ルニ檢察官ニ於テハ鳥獸獵規則第二條ハ全ク免狀ヲ有セス私擅ニ
銃獵ヲナス者ヲ指定セシモノニシテ他人ノ名義ト雖モ苟モ免狀ヲ携
帶シタルキハ該條ノ支配ヲ受クヘキモノニ非ス則チ同則第四條ノミ
ヲ適用スヘキモノナルニ原裁判所カ本件被告ノ所爲ヲ以テ同則第二
條第四條ニ違犯シタル二個ノ罪アルモノトナシ前顯ノ裁判ヲ下セシ
ハ擬律錯誤ノ裁判ナル旨上告シタリ依テ刑事局ニ於テハ治罪法第四
百二十九條ニ從ヒ原裁判ヲ破毀シ直ニ被告常治ニ對シ鳥獸獵規則第
四條ニ背クヲ以テ同第十七條ヲ適用シ罰金三圓ニ處スル旨ノ判決ヲ
下セシモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑免狀ナクシテ銃獵スルハ鳥獸獵規則第二條ノ禁スル所ニシテ又免狀ヲ貸借賣買若クハ其他ノ方法ヲ以テ授受シ銃獵スルハ同則第四條ノ禁スル所ナリ今原判文ヲ檢スルニ被告カ所爲タル其實父清左衛門カ受ケタル鳥獸獵免狀ヲ借受ケ之ヲ携帶シテ行獵シタリトノ事實ヲ認メアリテ即一箇ノ所爲ニ過キス然ラハ則チ右ニ辯明スル如ク鳥獸獵規則第四條ニ背キタルヲ以テ同第十七條ニ依リ單ニ一ノ刑ヲ科スヘキ相當ナルニ該所爲ヲ二箇ニ分別シ右規則第二條ニモ背戻セシカ如ク二罪ヲ以テ論斷シタルハ上告論旨ノ如ク法律適用ヲ誤リタル不法ノ裁判ニシテ破毀ノ理由アルモノト裁定ス

鳥獸獵規則違犯 明治十九年
第三百五十二號

銃獵免許ナキ者銃獵ノ目的ヲ以テ鳥獸ヲ擬シ未タ發火セサルハ鳥獸獵規則第二條第十七條ニ該ル輕罪ノ未遂犯ヲ以テ論シ免訴スヘキモノナリヤ否

岡山縣備前國赤坂郡土師方村平民無業山中惠三次ニ對スル被告事件
初審 岡山輕罪裁判所

本件ノ事實ハ被告惠三次ニ於テ自宅ノ銃ヲ持出シ居村字某ト唱フル所ニ於テ枝頭ノ小鳥ヲ擬シ將ニ發セントスルノ際巡查ノ瞳見スル所ト爲ルヲ知り急遽逃走シタルモノニシテ初審裁判所ハ右被告ノ所爲ヲ以テ免許ナク銃獵スルノ非ナルヲ知リ之ヲ爲サントシテ未タ遂クサリシモノト認定シ右ハ鳥獸獵規則第二條第十七條ニ該ル輕罪ノ未遂犯ナルモノ之ヲ罰スルノ特條ナケレハ罪トナラサルモノニ付免訴スル旨言渡シタリ然ルニ檢察官ニ於テハ鳥獸獵規則第二條ハ銃砲ヲ濫用シテ鳥獸ヲ打獲スルヲ禁スルノ精神ニシテ敢テ殺生ヲ禁スルモノニアラサルヤ明カナリ果シテ然ラハ鳥獸ヲ銃殺シタルト否トヲ問ハス苟モ身ヲ竹叢林間ニ潜メ鳥獸ノ來ルヲ窺ヒ銃ヲ以テ之ニ擬セハ未

タ發スルニ至ラサルモ均シク獸獵ト謂ハサル可カラサルニ原裁判所
 カ前顯ノ裁判ヲ下セシハ最モ擬律錯誤ノ甚シキモノト信スル旨縷々
 論告シタリ依テ刑事局ニ於テハ治罪法第四百廿九條ニ循ヒ原裁判ヲ
 破毀シ直ニ被告惠三次ニ對シ被告ノ所爲ハ鳥獸獵規則第二條ニ依リ
 三圓ヨリ少カラス貳拾圓ヨリ多カラサルノ罰金ヲ以テ處斷スヘキ所
 犯時十六歳未滿ナルモ是非ノ辯別アリテ犯シタル者ト認メタルヲ以
 テ刑法第八十條第二項ニ照シ本刑ニ二等ヲ減シ科料金壹圓五拾錢ニ
 處スル旨ノ判決ヲ下セシモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑モ鳥獸獵規則ノ精神タルヤ漫リニ獸獵ヲ禁スルニア
 リテ其發炮スルト否トヲ問ハス銃器彈藥等ヲ携帯シ山野ニ跋渉スル
 等ノコアルキハ已ニ其事ヲ行ヒ其禁ヲ犯シタルモノト云ハサル可カ
 ラス今ヤ本按被告ノ如キハ最早其禁ヲ犯シ銃ヲ携ヘ山野ニ出テ玉藥
 ヲ裝シ已ニ枝頭ノ小鳥ヲ射ント銃ヲ擬シ將ニ發炮セントスル域ニ達

シタルモノナンハ其已遂犯タル勿論ナリトス然ルヲ原裁判茲ニ出テ
 ス鳥獸獵規則中未遂犯ヲ罰スルノ正條ナシトテ輒ク無罪ノ判決ヲナ
 シタルハ擬律錯誤ノ裁判ナリトス

火藥取締規則違犯 明治十九年
第千三拾壹號

室内射擊營業ノ許可ヲ受ケタル者ハ火藥取締規則第十條但書ニ
 定メタル量數ヲ越ヘサル限リハ別ニ許可證ヲ要セス其免狀ヲ以
 テ雷管ノ賣買ヲ爲スコトヲ得ルヤ否

山梨縣甲斐國東八代郡岩井村平民當時千葉縣下總國千葉郡千葉
 町寄留煙草小賣營業兩宮茂兵衛千葉縣下總國千葉郡千葉町士族
 靴製造兼銃砲火藥類營業三浦貫ニ對スル被告事件

初審・千葉輕罪裁判所

本件ノ事實ハ被告茂兵衛ニ於テ曾テ室内射擊營業ノ許可ヲ受ケ其營
 業ニ供スル雷管三千個ヲ所轄警察署ノ許可證ヲ受ケス銃砲火藥類ノ

營業者タル被告貫ヨリ數回ニ買入レタルモノニシテ初審裁判所ハ右兩名ニ對シ被告茂兵衛ノ所爲ハ火藥取締規則第十條被告貫ノ所爲ハ同則第十一條ニ違背シタルモノニ付同則第二十八條ニ依リ各罰金若干圓ニ處スル旨言渡シタリ然ルニ被告等ニ於テハ室内射擊營業免狀モ煙火製造及ヒ銃獵免狀モ等シク官ノ免狀ナレハ其營業ニ供スル雷管ノ賣買ニ於ケル免狀ノ効力ニ付テモ亦タ差違ナキモノト信ス然ラハ則チ第十條ノ但書ニ定メタル量數ヲ超ヘサル限リハ別ニ許可證ヲ要セサリシトテ毫モ反則ト云フヘキモノニアラサルニ原裁判所カ前顯ノ裁判ヲ下セシハ不法ナル旨上告シタリ然レモ刑事局ニ於テハ上告ノ理由ナキモノトシテ棄却セシモノニ係ル

其理由ニ曰ク火藥取締規則第十條ニ(火藥類ヲ買受ケントスルキハ銃獵若クハ烟火製造ノ免許ヲ得タル者ハ其免狀ヲ營業者ニ示シ云々)トアルハ其明文ノ如ク免狀ヲ營業者ニ示シタルノミヲ以テ火藥類ヲ買

受クルヲ得ル者ハ銃獵免許者ト烟火製造免許者トノ二者ニ限ルモノナルヲ以テ其他ノ職業用ニ供スル火藥類ヲ買受ケントスル者ハ其職業ノ何タルヲ問ハス同條末項ニ依リ所轄警察署ノ許可證ヲ得タル上ニ非サルヨリハ買受クルヲ得ス故ニ營業者モ亦銃獵免許者ト烟火製造免許者トノ二者ヲ除キ職業ノ何タルヲ問ハス其職業用ニ供スル爲メ火藥類ヲ買受クル者アル時ハ所轄警察署ノ許可證ヲ受取リタル上ニ非サルヨリハ賣渡スヲ得サルモノトス被告茂兵衛カ免許ヲ得タル室内射擊營業用ニ供スル雷管ヲ買受クルニ當リ所轄警察署ノ許可證ヲ受クス又被告貫ハ被告茂兵衛カ其營業上用ユル雷管ヲ賣渡スニ該リ其許可證ヲ受取ラス賣渡シタル以上ハ既ニ辯明スルカ如ク火藥取締規則第十條第十一條ノ違犯者タルヲ免ルヲ得サルモノトス故ニ原裁判官カ其事實ヲ認テ以テ前掲ノ如ク處斷シタルハ最モ當ヲ得タル裁判ニシテ決テ不當ト云フヲ得サルニ付上告論旨相立タサ

ル者トス

火藥取締規則違反明治十九年
第五百八拾貳號

先代カ殘セシ火藥ノ届出ヲ爲サス之ヲ以テ職獵ヲ營業ト爲シタル者ハ火藥取締規則第二十五條第二十六條ノ制裁ヲ受クヘキモノナリヤ否

法律上罰スヘキ正條ナキ場合ニ於テハ治罪法第三百五十八條ニ依リ處斷スヘキモノナリヤ否

山形縣羽後國飽海郡江地村平民職獵營業石垣兵吾ニ對スル被告事件

初審 酒 田 支 廳

本件ノ事實ハ被告兵吾ニ於テ其祖父カ用ヒ殘セシ火藥六百目ヲ以テ職獵ヲ營業ト爲シ既ニ之レカ大半ヲ消費シタルモノニシテ則チ私ニ火藥ヲ所持シ居タル所爲アリシトノ公訴ニ係リシモノナルモ初審裁

判所ハ其事實ハ被告ノ陳述等ニ依リ明瞭ナレハ法律規則中其所爲ヲ罰スヘキ正條ナキヲ以テ刑法第二條ニ依リ其所爲ヲ罰セスト言渡シタリ然ルニ檢察官ニ於テハ明治十七年十二月第三十一號公布火藥取締規則第二十五條第二十六條ハ即チ本件ニ該當ス可キ正條ナルニモ拘ハラヌ原裁判所ハ前顯ノ裁判ヲ下セシノミナラス若シ被告ノ所爲ヲ罰スヘキ正條ナシトセハ宜ク治罪法第三百五十八條ニ依リ無罪ノ言渡ヲ爲スヘキニ原裁判ノ爰ニ出テサリシハ旁擬律錯誤ノ裁判ナル旨縷々論告シタリ然レハ刑事局ニ於テハ上告ノ理由ナキモノトシテ棄却セシモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑火藥類ヲ私ニ所持スルハ法ノ禁スル所ナレハ本件被告カ所爲タル原裁判官ノ認ルカ如ク職獵免許ヲ得テ之ヲ業トナス者ナレハ之レニ使用スル火藥タルヤ買受クルト讓受クルトニ論ナク其禁止スル量目ノ制限ヲ超過サセル限ハ當然所持シ得ヘキモノナルヲ

以テ其制限以内ノ火藥ヲ所持シ得タルトテ之ヲ指シテ私ニ所持シタルモノトハ云フヲ得サルモノトス况ンヤ銃炮取締規則ハ勿論火藥取締規則中職獵ニ供スル火藥ヲ買受クルニ付テハ警察官ノ許可ヲ受クルノ明文アルコトナク又買入レタル後又ハ讓受ケタル都度所轄警察官ニ届出ツヘキノ成規ナキニ於テオヤ故ニ原裁判官ニ於テ以上ノ事實ヲ認メテ法律規則中其所爲ヲ罰スヘキ正條ナシトシ前掲ノ如ク處斷シタルハ相當ノ擬律ニシテ錯誤ナリト云フヲ得サルハ勿論本案ノ如キハ犯罪ノ證據充分ナラスト云フニ非ス充分ナリト雖モ法ニ罰スヘキ正條ナシト云フニ在レハ治罪法第三百五十八條ニ依ラス刑法第二條ニ依リ處斷シタルハ亦越權ナリト云フヲ得ス因テ上告論旨相立タルモノトス

煙草稅則違犯目錄

丁數

無鑑札製造並ニ印紙貼用氏名價額等ニ關スル件

- 一刻煙草ニ印紙ヲ貼用セス且氏名價格等ヲ附記セサルニ關ス 明治十八年 三八五
第七百七十號
- 一切斷シタル印紙ニ裏打ヲ爲シ貼用シタルニ關ス 明治十八年 三八九
第一千五百九十一號
- 一煙草印紙ニ裏張ヲ爲シタルニ關ス 明治十八年 三九三
第二千五百四十號
- 一無印紙ノ煙草所持ニ關ス 明治十九年 三九五
第四百五十八號
- 一無印紙煙草所持又ハ印紙再貼用ニ關ス 明治十九年 三九八
第六百四十號
- 一煙草ヲ刻ミ上ク印紙ヲ貼用セサルニ關ス 明治十八年 四〇一
第九百八十三號
- 一刻煙草ノ裝置ヲ爲サス隨テ氏名等ヲ記セサルニ關ス 明治十七年 四〇五
第三千三百七十七號

一無印紙煙草ヲ所持シ又ハ價額量目ヲ附記セザルニ關ス

明治十八年 四〇八
明治十九年 四一〇
明治二十年 四一二
明治二十一年 四一四
明治二十二年 四一六
明治二十三年 四一八
明治二十四年 四二〇
明治二十五年 四二二
明治二十六年 四二四
明治二十七年 四二六
明治二十八年 四二八
明治二十九年 四三〇
明治三十年 四三二
明治三十一年 四三四
明治三十二年 四三六
明治三十三年 四三八
明治三十四年 四四〇
明治三十五年 四四二
明治三十六年 四四四
明治三十七年 四四六
明治三十八年 四四八
明治三十九年 四五〇
明治四十年 四五二
明治四十一年 四五四
明治四十二年 四五六
明治四十三年 四五八
明治四十四年 四六〇
明治四十五年 四六二
明治四十六年 四六四
明治四十七年 四六六
明治四十八年 四六八
明治四十九年 四七〇
明治五十年 四七二
明治五十一年 四七四
明治五十二年 四七六
明治五十三年 四七八
明治五十四年 四八〇
明治五十五年 四八二
明治五十六年 四八四
明治五十七年 四八六
明治五十八年 四八八
明治五十九年 四九〇
明治六十年 四九二
明治六十一年 四九四
明治六十二年 四九六
明治六十三年 四九八
明治六十四年 五〇〇

煙草製造ニ關スル件

一自用者ノ煙草ヲ賃切シタルニ關ス
一自家吸煙ノ爲メ煙草ヲ製造シタルニ關ス
一葉煙草賃切ノ依頼ニ關ス

明治十九年 四一五
明治二十年 四一七
明治二十一年 四一九

煙草賣買交換及區分ニ關スル件

一雇人ヲシテ煙草出賣ヲ爲サシメタルニ關ス
一出賣鑑札ヲ携帯セス煙草ヲ賣捌キタルニ關ス
一無鑑札ニテ煙草ヲ賣買シタルニ關ス
一煙草ヲ製造シ無印紙ニテ賣捌キ帳記セザルニ關ス
一他人ノ依頼ニ由テ煙草ヲ買取リタルニ關ス

明治十八年 四二三
明治十九年 四二四
明治二十年 四二七
明治二十一年 四三〇
明治二十二年 四三三
明治二十三年 四三六
明治二十四年 四三九
明治二十五年 四四二
明治二十六年 四四五
明治二十七年 四四八
明治二十八年 四五一
明治二十九年 四五四
明治三十年 四五七
明治三十一年 四六〇
明治三十二年 四六三
明治三十三年 四六六
明治三十四年 四六九
明治三十五年 四七二
明治三十六年 四七五
明治三十七年 四七八
明治三十八年 四八一
明治三十九年 四八四
明治四十年 四八七
明治四十一年 四九〇
明治四十二年 四九三
明治四十三年 四九六
明治四十四年 四九九
明治四十五年 五〇二
明治四十六年 五〇五
明治四十七年 五〇八
明治四十八年 五一〇
明治四十九年 五一三
明治五十年 五一六
明治五十一年 五一九
明治五十二年 五二二
明治五十三年 五二五
明治五十四年 五二八
明治五十五年 五三一
明治五十六年 五三六
明治五十七年 五三九
明治五十八年 五四二
明治五十九年 五四五
明治六十年 五四八
明治六十一年 五五一
明治六十二年 五五四
明治六十三年 五五七
明治六十四年 五六〇
明治六十五年 五六三
明治六十六年 五六六
明治六十七年 五六九
明治六十八年 五七二
明治六十九年 五七五
明治七十年 五七八
明治七十一年 五八一
明治七十二年 五八四
明治七十三年 五八七
明治七十四年 五九〇
明治七十五年 五九三
明治七十六年 五九六
明治七十七年 五九九
明治七十八年 六〇二
明治七十九年 六〇五
明治八十年 六〇八
明治八十一年 六一〇
明治八十二年 六一三
明治八十三年 六一六
明治八十四年 六一九
明治八十五年 六二二
明治八十六年 六二五
明治八十七年 六二八
明治八十八年 六三一
明治八十九年 六三六
明治九十年 六三九
明治九十一年 六四二
明治九十二年 六四五
明治九十三年 六四八
明治九十四年 六五一
明治九十五年 六五四
明治九十六年 六五八
明治九十七年 六六一
明治九十八年 六六四
明治九十九年 六六七
明治一〇〇年 六七〇

一無印紙煙草賣買讓與ニ關ス

明治十九年 四三七

一無鑑札ニテ煙草ヲ買入レタルニ關ス

明治十八年 四四一

一煙草買入帳ヲ調製セス賣買シタルニ關ス

明治十九年 四四三

一支社ヲ設ケ帳簿ヲ製セス且登記ヲ爲サ、ルニ關ス

明治十九年 四四六

一人ヲ教授シ無鑑札ニテ煙草小賣ヲ爲サシメタルニ關ス

明治十八年 四五〇

一無鑑札ニテ煙草ヲ販賣シ其賣代金額ノ知レザルニ關ス

明治十九年 四五三

煙草營業鑑札ニ關スル件

一出店ヲ設ケ鑑札ヲ願受ケサルニ關ス
一代替セシテ營業鑑札書換ヘサルニ關ス
一營業停止中標札ヲ掲ケタルニ關ス

明治十九年 四五五
明治二十年 四五八
明治二十一年 四六一

他人ノ犯罪幫助ニ關スル件

一 他人ノ煙草ヲ隱匿シタルニ關ス

乙 明治十九年 四六四
第四十五號

雜件

一 雇人ノ所爲ニ關ス

乙 明治十九年 四六六
第七十四號

一 後見人ノ責任ニ關ス

明治十九年 四七〇
第二百九十九號

一 證憑舉示ニ關ス

明治十九年 四七二
第二百九十號

煙草稅則違犯 明治十八年
第七百七十號

自身ノ製造ニ係ル紙包ノ刻煙草ニ印紙ヲ貼用セス且住所氏名價

格量目等ヲ附記セス之ヲ所持シタルモノハ煙草稅則第二十二條

違犯ノ一罪トナスヘキヤ又三罪ニ問フヘキヤ否

德島縣阿波國三好郡白地村平民煙草製造業相良伊助ニ對スル被

告事件

初審 脇 町 支 廳

本件ノ事實相良伊助ハ明治十六年七月以來煙草小賣營業鑑札ヲ受ケ
スシテ煙草若干ヲ代金六圓二十壹錢五厘ニテ自用者へ賣渡シ又明治
十八年一月中其製造ニ係ル刻煙草紙包一個ニ印紙ヲ貼用セス住所氏
名價格量目ヲ附記セサル儘所持シタルモノニテ明治十八年二月十六
日初審廳ハ右被告無鑑札小賣營業ノ所爲ハ明治十五年第六十三號布
告煙草稅則第五條第十一條第三十八條ヲ適用シ營業稅通脫ニ係ル金

高三倍ノ罰金ニ處シ賣捌代金ヲ追徴スヘク無印紙煙草ヲ所持シタル所爲ハ同則第二十二條第三十五條ヲ適用シ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ該當シ住所氏名ヲ附記セサル所爲ハ同則第二十一條第三十八條ヲ適用シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其煙草ヲ沒收スヘク價格量目ヲ附記セサル所爲ハ同則第三十條明治十六年第二十號布達第三項稅則第四十五條ヲ適用シ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ該當スルモノト判定シ其各刑期範圍内ニ於テ被告ヲ罰金及科料若干圓ニ處シ裝置煙草一個ヲ沒收シ賣捌代金若干圓ヲ追徴シ而シテ未裝置煙草ニ印紙ヲ貼用セス住所氏名價格目ヲ附記セサル所爲ハ法律ニ罰スヘキ正條ナキヲ以テ刑法第二條ニ依リ無罪ノ言渡ヲ爲シタリ被告ハ之ヲ不當トシ上告ヲ爲シタル其第一ノ要旨ハ被告カ無鑑札營業ニ對シテハ煙草稅則第五條第十一條第十二條第三十四條ヲ適用スヘキニ原裁判官カ第五條第十一條第十二條第三十八條ヲ適用處斷シタルハ擬

律ノ錯誤ナリ其二ノ論旨ハ刻煙草ヲ紙包ニ裝置シタルニアラス該煙草ハ被告カ妻ヤスカ親屬ノ者ヘ贈與セント欲シテ塵紙袋ニ入置キタルモノナリ云々等ノ點ニアリ原裁判所檢察官ハ本件ノ裁判ハ明治十八年二月十六日ニシテ上告申立ハ同月廿日ナレハ治罪法第四百十四條ノ期限ヲ經過シ上告ノ權ナキモノト思料ストノ答辯書ヲ差出セリ刑事局ニ於テハ原裁判ハ事實ノ不備且擬律ヲ誤リタルモノト認メ治罪法第四百二十八條ノ規則ニ從ヒ原裁判言渡ノ全部ヲ破毀シ及ヒ原檢察官カ上告期限ヲ經過シ其權ヲ失フタルモノナリト云フ答辯ニ對シ明治十八年第二號布告ヲ以テ輕罪ハ裁判言渡ヨリ五日內控訴ヲ爲スヲ得其期限內ハ控訴ヲ爲サスシテ直チニ上告ヲ爲スヲ得ル規定アレハ本件上告ハ原裁判言渡ヨリ五日以内ニ係ルヲ以テ當然受理シテ判決ヲ爲スノ理由ヲ與ヘタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク凡刑ノ言渡ヲ爲スニハ事實ノ理由ヲ詳明舉示セサルヲ

得サルハ治罪法第三百四條ノ規定スル所ナリ今原判文ヲ閱スルニ(前略)
 被告ハ明治十六年七月以來烟草小賣ノ營業鑑札ヲ受ケスシテ烟草若
 干ヲ代金六圓二十一錢五厘ヲ自用者へ賣渡シ云々トアリ其無鑑札
 ニテ烟草小賣ヲ爲シタルノ事實ニ於テハ烟草稅則第五條第十一條第
 十二條第三十四條ヲ適用スルハ當然ナレモ原裁判官カ同第三十八條
 ヲ適用處斷セシハ擬律ニ錯誤アルト上告第一論旨ノ如クナルモ其第
 三十四條ヲ適用スルニハ營業稅ノ逋脫ニ係ル三倍ノ罰金ニ處スヘキ
 モノナレハ其逋脫稅ヲ明カニスルハ本案緊要ノ事實ナルニ原判文前
 ニ掲クル如ク明治十六年七月以來云々トノミニテ其七月ヨリ何年月
 日迄納稅幾期分ノ營業ヲ爲シ幾何ノ脫稅ニ該リシ乎此事實ヲ審究明
 示ナキハ即チ理由ノ不備ニシテ治罪法第三百四條ニ背戾シタル不法
 ノ裁判ナルヲ以テ破毀ノ原由アルモノトス又上告第二論點ハ單ニ事
 實判定ノ當否ヲ非難スルニ過キスシテ素ヨリ上告ノ原由トナスニ足

ラスト雖モ原判文末項ヲ閱スルニ又明治十八年一月中其製造ニ係ル
 刻烟草紙包壹個ニ印紙ヲ貼用セス住所氏名價額量目ヲ附記セサル儘
 之ヲ所持シタルモノト判定ストアリ此事實ニ於テハ烟草稅則第二十
 二條ノ違反者ナルヲ以テ同則第三十五條ニ該ル一罪ヲ處罰シ同則第
 二十一條第三十八條第二十條第四十五條及ヒ明治十六年第二十號布
 達第三項等ヲ適用シ三罪ヲ以テ處斷スヘキモノニアラス何トナレハ
 無印紙烟草ヲ賣買又ハ所持スル如キ脫稅ヲ謀ル者ノ氏名住所量目等
 ヲ附記セサルハ犯人ノ情狀ニシテ無鑑札營業者カ無印紙無記名ノ烟
 草ヲ賣買スルト同一ナレハ無印紙犯則トシテ罰スル以上ハ之レヲ三
 罪ト爲シ處斷スヘキモノニアラサレハナリ然ルチ原判官カ之レヲ三
 罪トナシ處罰セシハ是亦不法ノ裁判ナリトス

烟草稅則違反明治十五年九月十一號

未タ貼用セサルモ已ニ切斷シテ廢物トナリタル印紙ニ裏打ヲ爲

シ之ヲ煙草ニ貼用シタルモノハ無印紙煙草ヲ以テ論スヘキヤ將
テ印紙再貼用ヲ以テ處分スヘキヤ

東京府日本橋區吳服町平民煙草小賣人野口チヨニ對スル被告事
件

初審 東京輕罪裁判所

本件ノ事實被告野口チヨハ煙草買入帳ニ其買入レノ年月日賣主ノ氏
名住所ヲ記入セス數度ニ買入レチナシ又刻煙草五十匁玉壹個ニ貼用
シアル印紙ハ已ニ切斷シ廢物トナリタルヲ以テ他紙ヲ以テ裏打チナ
シ再ヒ之レニ貼用シタルモノニテ明治十八年五月十二日初審裁判所
ハ右所爲ノ内帳簿ニ記入ヒサルハ煙草稅則第二十三條及明治十六年
第二十號布達ニ背犯スルヲ以テ右稅則第四十五條ニ照シ科料金壹圓
ニ處シ印紙ヲ再ヒ貼用シタルハ刑法第九十九條ニ該當スルヲ以テ
罰金十圓ニ處ス但再貼用ノ印紙ハ沒收シ煙草及帳簿差押ハ解クト言

渡シタル裁判ヲ不當トシ同裁判所檢察官ハ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ
被告ハ煙草營業人ナルヲ以テ當然同則ノ範圍内ニ於テ營業セサルヲ
得サルモノナリ然ルニ自家販賣スル所ノ煙草ニ再用ノ印紙ヲ以テ帶
封トナシ現ニ店頭ニ陳列シ居タレハ其行爲ハ印紙ヲ再用シタル者其
不行爲ハ無印紙ノ煙草ヲ所持シタル者ナレハ右二ケノ事實ニ付相當
ノ裁判ヲ求メタルニ何等ノ理由モ明示セス單ニ無効ノ印紙ヲ再用シ
タル事實ニ對シ刑法第九十九條ノ罪ヲ以テ罰シタルハ即チ訴ヲ受
ケタル事件ニ對シテ裁判ヲ爲サルモノナリト云ヒ又被告代言人上
告ノ要領ハ第一本案被告人カ煙草印紙ニ裏打チナシタル所爲ハ毫モ
法律ヲ犯シタルニ非ス故ニ法律上之ヲ罰スルノ正條ナシ然ルニ原裁
判所ハ刑法第九十九條ニ該當スルトノ裁判アリシハ了解シ能ハサ
ルナリ第二刑法第九十九條ノ明文ハ再貼用犯ノ者ニ適用スヘキ法
律ニシテ裏打チナシタルモノニ援引スヘキ法律ニアラス然ルニ其裏

打ヲナシタル所爲ト再貼用ノ所爲ト同一ニ看做シ刑法第九十九條ヲ適用シタルハ擬律ノ錯誤ナルヲ以テ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ原裁判ハ判決上緊要ノ事實ヲ缺キタルモノト認メ治罪法第四百三十一條ニ基キ其上告ノ一部ヲ破毀シタルモノニ係ル其理由ニ曰ク抑刑ノ言渡ヲ爲スニハ事實ノ理由ヲ明示ス可キ者ナルヲハ治罪法第三百四條ノ規定ニ依テ明瞭ナリ今原判文ヲ閱スルニ(前)又刻烟草五十匁玉一個ニ貼用シアル印紙ハ已ニ切斷シ廢物トナリタルヲ他紙ヲ以テ裏打ヲナシ再ヒ之レニ貼用シタルモノナリトアリテ已ニ切斷シ廢物トナリタルトハ已ニ貼用シタル印紙カ切斷シ廢物トナリシモノナルヤ又ハ未タ貼用セサルモ已ニ切斷シ廢物トナリシト云フノ意義ナルヤ事實ノ理由不備ニシテ之ヲ知ル能ハスト雖モ已ニ一度貼用シタル印紙ニ非ラス廢物トナリタルモノヲ貼用シ所持セシモノナレハ其貼用ノ効無キニ付無印紙烟草ヲ所持シタル罪ハ免カシ

得サルモ之ヲ以テ印紙再貼用ト云フヲ得ス何トナレハ印紙再貼用ノ罪タルヤ已ニ貼用シタル印紙ヲ再ヒ貼用シタルニアルヲハ刑法第九十九條ニ依テ明瞭ナレハナリ以上辯明ノ如ク本案ハ所謂事實理由不備ナル裁判ナルニ付擬律ノ當否ヲ知ルニ由シ無キヲ以テ破毀ス可キモノトス已ニ此點ヲ以テ破毀ス可キモノト認ムル上ハ原檢察官及ヒ被告カ上告趣旨ニ對シテハ別ニ辯明ヲ與フルヲ要セス

煙草稅則違犯 明治十八年
第五百四十四號

煙草印紙ノ破斷セシモノニ裏張ヲ爲シタルモノハ其効力ヲ有セ

サルヤ否

東京府四ツ谷區忍町十四番地平民煙草仲買營業窪田德次郎ニ對スル被告事件

初審 東京輕罪裁判所

本件ノ事實被告窪田德次郎ハ五十匁玉煙草壹個ニ貼付シアル印紙ノ

切レ損シ無効ニ歸シタルモノニ裏張ヲ爲シ該煙草ヲ小賣人へ賣渡シタルモノニテ明治十八年六月八日初審裁判所ニ於テ被告カ所爲ハ無印紙ノ煙草ヲ賣却セシト同一ナリト判定シ煙草稅則第三十五條ニ依リ罰金拾五圓ニ處スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ上告ヲ爲ス其主旨ハ被告カ賣渡シタル玉造煙草壹個ハ他ヨリ買取リタル節已ニ印紙ノ切損シタルヲ裏打紙ニテ繼キ留メ賣渡シタルモ其効用ヲ失シタルニアラス又印紙ハ流通紙幣ト同様ニシテ破斷スルトモ其効力ノ消滅スヘキモノニアラスト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告ハ其原由ナキモノト認メ棄却シタルモノニ係ル

其理由ヨリ抑煙草印紙ノ如キハ其物質ニ限り貼用シテ効用ヲ爲スモノナレハ一般ニ輾轉流通スル紙幣ト同一視スヘキモノニアラサルハ説明ヲ要セスシテ明了ナリ而テ各種ノ印紙ハ一度使用シ了スルニ於テハ其効用ハ消滅スルモノナルヲ以テ破斷或ハ其文字等ノ滅盡ス

ルキハ其効用ヲ失フヤ論ヲ竣サルナリ故ニ原裁判官カ被告ハ破斷無効ニ屬シタル印紙ヲ裏打紙ニテ接續シ以テ玉造煙草ヲ結束シ之ヲ販賣セシ者ト認メタル以上ハ煙草稅則第三十五條ニ依リ處斷スルハ當然ニシテ之レヲ不當ナリト云フヲ得サルモノトス

煙草稅則違犯 明治十九年
第四百五十八號

煙草ヲ刻上ルモ乾燥等ノ時間内ニ同稅則第十三條第十四條ノ手續ヲ爲スヲ要セサルヤ否又粉煙草ノ如キ吸料ニ適セサルモノハ同稅則ノ制裁ハ受ケサルヤ否
熊本縣熊本區魚屋町三丁目八番地煙草製造人吉本惣太郎ニ對スル被告事件

初審 熊本輕罪裁判所

本件ノ事實被告吉本惣太郎ハ明治十八年十二月二十日無印紙ノ刻煙草并ニ粉煙草共五百目ヲ製造場内ニ所持セシモノニテ明治十九年一

月廿日初審裁判所ハ煙草稅則第三十五條ニ依リ罰金若干圓ニ處シ但
 證憑トシ押收シタル煙草ハ被告人ニ還附スト言渡シタリ被告ハ該刻
 煙草ハ未タ製造中ナルヲ以テ其旨申立ルモ採用セラレス且其粉煙草
 ノ如キハ吸料ニ適ヒサルモノナルニ依リ肥料ニ賣却セント器械場ニ
 貯ヘ置キタルモノニテ之ヲ犯則トシテ處斷シタルハ不法ナリトノ旨
 ヲ以テ上告ヲ爲シタリ刑事局ニ於テハ原裁判ハ樞要ノ事實理由ヲ缺
 キタルモノト認メ治罪法第四百二十八條ノ成法ニ從ヒ原裁判言渡ノ
 全部ヲ破毀シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑煙草ヲ製造スルニハ各其手續方法ノアルアリテ多ク
 ハ刻ミ上ケタル上之ヲ乾燥シ然ル後チ稅則第十三條ニ從ヒ其區分ヲ
 爲シ同第十四條ニ依リ印紙ヲ貼用シ又ハ結束ヲ爲スモノナルコトハ普
 通ノ順序ナリ故ニ其乾燥等ノ手續ヲ了ヘ既ニ裝置シ得ラルヘキモノ
 ヲ裝置セスシテ所持スルコトハ法ノ禁スル所ナルニ依リ此所爲アルニ

於テハ管ニ無印紙煙草所持ノ罪ノミナラス稅則第十三條ニ違フモノ
 ナレハ同第四十一條ノ制裁ヲモ免カレサルモノナリ若シ之レニ反シ
 未タ乾燥ヲ了ヘサルカ或ハ其製造ノ方法ニ依リ裝置ヲ爲ス可キ時期
 ニ至ラサル刻煙草ヲ所持シタルカ如キ場合ニ於テハ直チニ之ヲ稅則
 違犯ノ所爲アルモノトハ云フヲ得ス斯カル理由ニシテ無印紙ノ煙草
 ヲ所持スルモ罪ノ有無ハ勿論制裁法ニモ影現アルモノナレハ其事實
 ヲ判文上詳悉明示スルハ緊要ナルニ原判文ヲ觀レハ(被告人吉本惣十
 郎カ云々無印紙ノ刻煙草并ニ粉煙草共五百目ヲ製造場内ニ所持セシ
 事實ハ云々證憑充分ナリトスト)ノミニテ右ニ説明シタル樞要ノ事實
 ハ更ニ示シ之レナク加フルニ其粉煙草タルヤ果シテ吸料ト爲ルヘキ
 モノナルヤ否ヲモ判別明示セサルヲ以テ今爰ニ法律適用ノ如何ヲ鑑
 別スルコト能ハス之ヲ要スルニ治罪法第三百四條ノ法規ニ戻背シタル
 失當ノ裁判ト認ルヲ以上告論旨ニ對シテハ別ニ辯明ヲ付セス破毀ス

ヘキモノト斷定ス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第六百四十號

無印紙煙草ヲ所持シ又若干ノ煙草ニ印紙再貼用ヲナシ之ヲ所持シタルモノハ繼續犯ヲ以テ論シ一罪ニ問フヘキヤ將タ二罪トシ處分スヘキヤ否

岡山縣備前國兒島郡宇津村平民煙草製造人守田義平ニ對スル被
告事件

初審 岡山輕罪裁判所

本件ノ事實被告守田義平ハ第一無印紙刻煙草百目袋十八個ヲ所持シ第二刻煙草百目袋八個ニ印紙再貼用ヲナシ之ヲ所持シ第三山本コトヲ煙草出賣人トシ鑑札ヲ受ケタルモ被告製造ノ煙草九貫四百拾匁ヲ數回ニ賣渡シ之ヲ成規ノ帳簿ニ記載セサルモノニテ明治十九年五月六日初審裁判所ハ被告第一ノ所爲ハ明治十五年第六十三號布告煙草

稅則第三十五條ニ該リ第二印紙再貼用ノ所爲ハ刑法第百九十九條ニ該リ無印紙ノ所爲ハ同則第三十五條ニ該リ第三ノ所爲ハ同則第二十三條ニ違犯シ同則第四十五條ニ該ルモノト判定シ第一ハ罰金十五圓第二ハ罰金十五圓第三ハ科料壹圓ニ處スト言渡シタル裁判確定ノ後大審院檢事長ハ非常上告ヲ爲シタリ其要旨ハ被告義平カ受ケタル裁判言渡中第一ノ罪ナル百目袋ノ刻煙草十八個ヲ無印紙ニテ所持シタルト又其第二ノ罪ナル百目袋ノ刻煙草八個ニ印紙ヲ再貼用シテ所持シタルトハ其罪固ヨリ一ナラスト雖ヒ無印紙所持ノ點ニ至テハ二個脫稅ノ意思繼續セルニ付一罪ヲ以テ論スヘキハ敢テ辯ヲ俟タサルナリ然ルニ原裁判茲ニ出テス全ク之ヲ二罪視シ各若干ノ罰金ヲ科シタルハ所謂相當ノ刑ヨリ重キ刑ヲ言渡シタルモノナルヲ以テ治罪法ノ規定ニ從ヒ非常上告ヲ爲シ之カ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ非常上告論旨ニ基キ治罪法第四百三十五條ニ依リ原裁判言渡ノ

非常上告ニ係ル部分ヲ破毀シ直チニ原裁判言渡ニ認メタル第一第二ノ無印紙煙草ヲ所持シタル所爲ヲ明治十五年第六十三號布告煙草稅則第三十五條ニ照シ罰金十圓以上百圓以下ノ範圍内ニ於テ被告義平ヲ拾五圓ノ罰金ニ處シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク凡ソ煙草營業者ニシテ無印紙ノ刻煙草ヲ所持スルハ法律ノ認テ脫稅ヲ圖ルノ意思ニ出タルトナス所ニシテ其爲ノ數次ニ渉ルモ尙モ意思ノ繼續スルト認ムヘキ場合ニ於テハ乃チ繼續犯ヲ以テ論シ二罪トナシ處斷スヘカラサルヤ論ヲ待タサルナリ本案非常上告ノ趣旨ニ付原裁判言渡ニ認メシ事實ニ據ルニ其第一ノ所爲即チ無印紙刻煙草百目袋十八個ヲ所持シタルト第二ノ所爲刻煙草百目袋八個ニ印紙再貼用ヲナシタルトハ固ヨリ一様ナラサルモ無印紙ノ刻煙草ヲ所持セシ點ニ至ツテハ二個脫稅ヲ圖ルノ意思繼續スルニ付一罪ヲ以テ論セサルヘカラス然ルニ原裁判茲ニ出テス本案ノ如ク

二罪トナシ處斷シ一ハ罰金拾五圓ヲ言渡シ一ハ同ク拾圓ヲ言渡シタルハ一罪二罰ヲ科シタルモノニシテ即チ本院檢察長ノ論告セシ如ク所謂相當ノ刑ヨリ重キ刑ヲ言渡シタルモノトス
煙草稅則違犯 明治十八年
第九百八十三號

煙草ヲ切上ルヤ直ニ同稅則第十三條ニ從ヒ印紙貼用スヘキヤ若シ然ラサルキハ同稅則ノ制裁ヲ受クルヤ否

東京府本所區元町五番地平民煙草製造業萩原勇次郎ニ對スル被

告事件

初審 東京輕罪裁判所

本件ノ事實被告萩原勇次郎ハ明治十八年一月廿九日被告カ所有ニ係ル本所區相生町壹丁目川岸土藏内ニ刻煙草拾九貫八百目ヲ無印紙ニテ所持シ第二明治十七年七月以來熊本其他ヨリ買入レタル千二百八十三玉ノ刻煙草ヲ解崩シ之ヲ崩シ賣ニ爲シ第三ハ明治十八年一月廿

一日ヨリ同月廿八日マテ仲買人賣渡帳ニ登記ヲ爲サ、ルモノニテ明治十八年三月七月初審裁判所ニ於テ第一第二ノ所爲ハ明治十五年第六十三號煙草稅則第三十五條ニ依リ二罪トシ各罰金若干圓ニ處シ仍ホ賣渡代價若干圓ヲ追徴シ第三ノ所爲ハ同則第四十五條ニ照テシ科料金若干ニ處スト言渡シタルニ被告ハ之ヲ不當トシ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ日々切上ケ來ル所ノ煙草ニ濕氣アル分ハ之ヲ乾カシ色合香口等ヲ試シ而シテ後印紙ヲ貼用ス彼刻煙草ノ如キ未タ製造中ノモノナレハ之ヲ所持シタリトテ同則第三十五條ニ照テシ罰シタルハ不服ナリ又熊本其他ヨリ買入レタル千二百八十三個ノ刻煙草ヲ崩シ賣リニナシタルハ同稅則ニ基キ五匁以下ニ解崩シ二厘ノ印紙ヲ貼用シテ販賣シタルハ帳簿記載ニ依テ明カナリ殊ニ一應ノ訊問ヲモナサス賣捌代金若干圓ヲ追徴シタルハ不當ナリト云ヒ大審院立會檢事ハ被告カ刻煙草ヲ崩賣ニ爲シタルニ付テハ同稅則第十五條ノ規定ニ從ヒシ

ヤ否ノ事實ヲ明示セサルノミナラス代價若干ニ販賣シタルヤノ事實ヲ明示セス同則第三十五條ニ照シ罰金及追徴ノ言渡ヲ爲シタルハ不當ナリト論シ附帶上告ヲ爲シタリ刑事局ニ於テハ原裁判ハ總テ緊要ノ事實ヲ欲キタル不法ノ裁判ト認メ治罪法第四百二十八條ニ法リ原裁判言渡ノ全部ヲ破毀シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則第十三條ニ(煙草製造人刻煙草ヲ製造スルキハ左ノ量目ニ從ヒ玉造紙包又ハ箱詰ニ裝置シ相當ノ印紙ヲ用フヘシトアル如ク煙草ニ印紙ヲ貼用スルノ順序ハ七個ノ量目ニ從ヒ裝置シテ初テ貼用スルモノニシテ濕氣等ノ爲メ未タ裝置スルコトヲ得サル製造煙草ニモ印紙ヲ貼用スヘシトノ規定ニハ非サルナリ故ニ印紙不貼用ノ煙草ヲ所持シタルノ事實アリト認ムルニハ果テ其煙草タル裝置シ得ヘキヲ裝置セス無印紙ノ儘所持シタルニ在ルカ又ハ七個ノ量目ニ從ヒ裝置シナカラ印紙ヲ貼用セサルニ在ルヤノ理由ハ必ス付スヘキ

モノトス然リ而テ原判文ニ(略)土藏内ニ刻烟草拾九貫八百目ヲ無印紙
 ニテ所持トアルヲ見レハ未タ裝置セサル烟草ヲ無印紙ノ儘所持シタ
 ルヲハ明ナリト雖モ此烟草タル果テ裝置シ得ヘキヲ裝置セズ無印紙
 ノ儘所持シタルニ在ルカ將タ裝置シ能ハサル烟草ヲ無印紙ノ儘所持
 シタリトノ謂ナルカ之ヲ知ルニ由ナシ又被告カ第二ノ所爲ナリトシ
 認メタル事實ハ明治十七年七月以來熊本其他ヨリ買入レタル千二百
 八十三玉刻烟草ヲ解崩シ之ヲ崩シ賣ニ爲シトノミアツテ果テ無印紙
 ノ儘崩シ賣ニナシタルニ在ルヤ果テ然ラハ何程ノ代價ニテ販賣シタ
 ルヤノ事實理由ヲ明示セスシテ直ニ其無印紙ニテ販賣シタル所爲ヲ
 罰スル第三十五條ニ照シ罰金及ヒ賣捌代金ヲ追徴スト言渡シタルハ
 即チ事實ノ理由ヲ明示セサル不法ノ裁判ナリトス既ニ此點ヲ以テ原
 裁判破毀ノ原由アリト認メタル上ハ上告趣旨及ヒ附帶上告論旨ニ對
 シ一々辯明ヲ與ヘス

烟草稅則違犯明治十七年
第三千三百七十七號

刻烟草ノ裝置區分ヲ爲サス隨テ氏名住所ヲ附記セサルモノハ之
 チ二罪ニ問ヒ罪スヘキヤ將タ同稅則第十三條ノ制裁ヲ以テ足レ
 リトスルヤ

德島縣三好郡東井川村百六十四番地平民烟草製造人吉岡松藏ニ
 對スル被告事件

初審 德島輕罪裁判所

本件ノ事實被告吉岡松藏ハ第一刻烟草ノ裝置區分ヲ爲サス第二氏名
 住所ヲ附記セス第三無印紙ノ儘所持シタルモノニテ明治十七年九月
 十七日初審裁判所ハ被告カ裝置ヲ爲サル所爲ハ烟草稅則第十三條
 同第四十一條ニ照シ罰金若干ニ處シ押收スル所ノ烟草ハ沒收シ第二
 ノ所爲ハ同稅則第二十一條第三十八條ニ照シ罰金若干第三ノ所爲ハ
 同稅則第二十二條第三十五條ニ照シ罰金若干ニ處スト言渡シタル裁

判ニ對シ被告ハ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ原裁判官カ認メタル煙草ハ粉ニシテ吸煙ノ料トナルヘキモノニアラスシテ肥料ニ用ユヘキモノナルヲ以テ煙草稅則ノ制裁ヲ受クヘキモノニアラスト云ヒ大審院立會檢事ハ煙草稅則第二十一條ハ其第十三條ニ從ヒ玉造又ハ箱詰ニ裝置シタル煙草ノミヲ規定シタルモノニシテ本案ノ如キ未タ裝置ヲ爲サ、ル煙草ヲモ包含セシムルノ法意ニアラサルヤ明カナリ何トナレハ未タ裝置ヲ爲サ、ル煙草ハ之ニ氏名住所ヲ付記スルニ由ナキヲ以テナリ然ラハ上告人カ氏名住所ヲ付記セサル所爲ハ罪ト爲ルヘキモノニアラサルヲ以テ此一部ノ裁判ハ破毀ヲ求ムト論シ附帶上告ヲ爲シタリ刑事局ニ於テハ附帶上告ニ係ル裁判ハ擬律ノ錯誤ニ出テタルモノト認メ治罪法第四百三十一條ニ從ヒ破毀シ更ニ原裁判官カ被告松藏ニ對シ煙草稅則第二十一條同第三十八條ニ據リ科シタル罰金拾圓ハ取消シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク被告カ上告ノ要旨本按犯則ト認メラレタル煙草ハ肥料ニ供スル粉煙草ニシテ吸煙ニ供スル品ニアラサレハ稅則ノ支配ヲ受クヘキモノニ非スト云フモ原判文ニハ明カニ刻煙草ト認メアリテ粉煙草トハ判定セス其ヤ粉煙草ナリトスルモ其飲料ニ供スルニ足ル以上ハ刻煙草ノ一種ト見做スヘキモノニ付稅則ノ支配ヲ免レス而シテ其飲料ニ供スルニ足ルカ否ヤノ事實ヲ判定スルハ特ニ原裁判官ノ職權ニ放任セラレタルモノナレハ他ヨリ之レヲ左右スルヲ得ス到底被告カ上告趣旨ハ事實ノ認定ヲ論難スルニ外ナラサレハ法ニ適シタル上告ノ原由ナキモノトス然レモ原裁判ニ於テ稅則第二十一條即チ氏名住所ヲ附記セサル違則ノ所爲モアリト判定シタルモ抑モ該第二十一條ハ附帶上告論旨ノ如ク其第十三條ニ從ヒ裝置ヲ爲シタル煙草ニ對スルノ規定ニシテ本按ノ如キ裝置前ノ煙草ニハ其第十三條ノ制裁ヲ以テ足レリトス然ルニ原裁判ハ其罪トナルヘカラサル事柄ニ對

シ該第二十一條第三十八條ヲ適用シテ罰金ヲ科シタルハ擬律ノ錯誤ナリ

煙草稅則違犯 明治十八年
第千九百九十四號

煙草ヲ所持スルニ於テ價格量目ヲ附記セサルモノハ煙草稅則第四十五條ニ依リ科罰スヘキヤ又ハ同稅則第二十一條第三十八條ヲ適用スヘキヤ否

岐阜縣美濃國方縣郡黑野村平民葺製造兼小賣營業鄉助十郎ニ對スル被告事件

初審 岐阜輕罪裁判所

本件ノ事實被告鄉助十郎ハ第一明治十八年二月中店頭ノ箆筒ニ入在ル五匁玉煙草百三十一個ニ價格量目ヲ附記セス又五十匁紙包煙草一個ニ價格ヲ附記セス第二ハ無印紙ノ百匁紙包煙草十三個ヲ所持シ第三ハ明治十七年八月以來買入賣渡等ヲ帳簿ニ記載セサリシモノニテ

明治十八年三月卅一日初審裁判所ハ右被告カ第一ノ所爲ハ明治十五年第六十三號布告煙草稅則第廿一條ニ違背シタルモノトシ同第三十八條ニ依リ罰金五圓ニ處シ尙ホ犯罪ニ係ル煙草百三十二個ハ沒收ス第二ノ犯罪ハ同第三十五條ニヨリ罰金十圓第三ノ犯罪ハ同第廿三條ニ違犯シタルモノトシ同第四十五條ニ依リ科料五十錢ニ處シ但差押ヘタル百匁煙草十三個並ニ帳簿四冊ハ被告ヘ還附スト言渡シタル裁判ニ對シ同裁判所檢察官ハ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ被告カ第二第三ノ所爲ニ對シ適用シタル法律ハ至當ナルモ第一ノ所爲ハ止テ價格量目ヲ附記セサルモノナレハ明治十六年第二十號布達第三項ニ違フタルニ過キササルヲ以テ煙草稅則第四十五條ニ依リ科罰スヘキニ被告事件ニ關係ナキ全則第二十一條第三十八條ニ依リ處斷シタルハ擬律ノ錯誤ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告論旨ニ依リ原裁判ノ一部ヲ破毀シ直チニ刑法第五條ニ基キ明治十五年第六十三號布告煙草稅

則第廿條及ヒ明治十六年第二十號布達第三項ニ依リ右煙草稅則第四十五條ニ第二十條云々ニ依リ定メタル布達ニ背犯シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ストアルヲ適用シ被告助十郎ヲ科料金一圓五十錢ニ處シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則第二十一條ノ規則タルヤ其明文ノ如ク製造人ノ氏名住所ヲ附記ス可キ事ヲ定メタルモノナレハ若シ之レニ違フタル時ハ全則第三十八條ノ制裁ヲ受ク可キハ當然ナリ然レモ原判文ヲ視ルニ被告カ第一ノ所爲タル承審官ノ認定シタル事實ニ依レハ其裝置煙草ニ價格ト量目ヲ附記セサリシト云フニ止リ氏名住所ヲ附記セサルノ所爲ニ非ス然ラハ則チ同則第二十條ニ依リ定メタル明治十六年第二十號布達第三項ノ違犯者タルヲ以テ煙草稅則第四十五條ヲ當行シテ處斷スヘキ者ナルニ原裁判爰ニ出テス同第二十一條ニ背キタルモノトシ同第三十八條ニ依リ科斷シタルハ上告論旨ノ如ク擬律錯

誤ノ裁判ナルヲ以テ此一部ハ破毀ノ原由アルモノト判定ス

煙草稅則違犯明治十八年
第貳千八百三拾五號

煙草製造兼小賣營業者ニ於テ無印紙若クハ價格住所氏名ヲ附記

セス賣捌キタルモノハ製造營業小賣營業ノ資格ニ對シ各別ニ罰

スヘキヤ否

高知縣土佐國土佐郡新市町平民煙草製造兼小賣營業安岡茂之助

ニ對スル被告事件

初審 高知輕罪裁判所

本件ノ事實被告安岡茂之助ハ初審裁判所ニ於テ同十八年七月中第一自己製造ノ刻煙草六貫目ヲ五十匁紙包百貳拾個ニ裝置シタルモノ每個ニ其價格量目ヲ附記セス第二前記ノ煙草ニ製造人即被告ノ住所姓名ヲ附記セス第三前顯ノ煙草悉皆ヲ代金貳圓四拾錢ニテ無印紙ノ儘煙草小賣人自己ニ賣渡シ第四煙草小賣人ニシテ前顯無印紙ノ刻煙草ヲ

煙草製造人自己ヨリ買受ケ第五前顯ノ煙草ヲ無印紙ノ儘雇人ヲシテ
 出賣セシメ内百五拾目ハ代價六錢ニ賣捌キタルモノトシ之ヲ煙草稅
 則ニ照シ第一ノ所爲ハ同則第二十三條ニ依リ太政官布達第三項及ヒ
 煙草稅則第四十五條ヲ適用シ科料若干第二ノ所爲ハ同則第二十一條
 第三十八條ニ依リ罰金若干第三第五ノ所爲ハ同則第三十五條ニ依リ
 各罰金若干及賣代金ヲ追徵シ第四ノ所爲ハ同則第三十七條ニ依リ罰
 金若干ニ處スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ第三第四ノ所爲ニ對ス
 ル裁判ハ事實ニ反スルモノナリト論シ第五ノ所爲ヲ犯罪ト認メタル
 ニ於テハ稅則第四十七條ヲ適用セサルヘカラス然ルニ原裁判茲ニ出
 テサルハ擬律ノ錯誤ナリト主張シ上告ヲ爲シ大審院立會檢事ハ被告
 カ第三第四ノ所爲ノ如キハ假令法ニ明文アルモ製造兼小賣營業者タ
 ル被告其人ニ對シテハ一面製造人トシ一面小賣人トシ各個ニ其罪ヲ
 問フヘキノ精神ニアラス恰モ右手ノ物ヲ左手ニ移スト一般ナレハ之

ニ對シ罰金ヲ科シタルハ擬律錯誤ノ裁判ナリト論シ附帶上告ノ末刑
 事局ニ於テハ被告カ上告ハ其理由ナキモノトシ棄却シ附帶上告論旨
 ニ基キ同第四百三十一條ニ則リ原裁判錯誤ノ一部ヲ破毀シ直チニ被
 告カ第三ノ所爲ニ對スル煙草稅則第三十五條第四ノ所爲ニ對スル同
 稅則第三十七條ヲ適用シ處罰シタル裁判ヲ取消シタルモノニ係ル
 其理由ニ曰ク治罪法第四百十條第九項ニ所謂事實理由ノ齟齬トハ判
 文上判示シタル事實理由中ニ於テ前後矛盾スルカ如キ場合ヲ指稱シ
 タルモノニシテ被告カ論旨ノ如キ廉チ指シタルモノニ非サレハ之ヲ
 以テ該九項ニ該當スル理由ト爲スヲ得サルハ勿論刻煙草ヲ裝置シタ
 ル以上ハ即時印紙ヲ貼用スヘキハ當然ニシテ被告カ雇人廣次ニ印紙
 ヲ買入貼用方ヲ申付ケ置キシト云フモ已ニ無印紙ニテ賣用ニ供シタ
 ル上ハ其犯則タル素ヨリ免カル、ヲ得ス畢竟右等ハ事實判定上ニ對
 スルノ批難ニ過キサレハ上告ノ理由ト爲ス可カラス而シテ第五ノ所

爲ニ對シ稅則第四十七條ヲ當行セサルモ現ニ受ケタル所ノ處斷タル
 ヤ該條ニ背カサレハ本案ニ利害ナキヲ以テ右法條ヲ舉ケテ明示セサ
 ルモ之ヲ擬律錯誤トナシ破毀ノ原由ト爲スニ足ラサルモノナレハ結
 局被告カ上告ノ論旨ハ渾テ採用スルニ由ナキモノトス然リ而シテ原
 判文ヲ視レハ被告カ第三第四ノ所爲タル被告一人ニテ賣買ヲ爲シタ
 リト云フニ外ナラス抑賣買ナルモノハ一ノ契約ニ成リ一方ハ物件ヲ
 交付シ他ノ一方ハ價金ヲ拂ヒ其物件ヲ受クルモノニシテ必スヤ對手
 者アルニ非サレハ成立セサルナリ然ラハ則チ被告カ第三第四ノ所爲
 タル製造ノ刻煙草ヲ無印紙ニテ小賣ニ供シタル者ナルヲ以テ第五犯
 罪ノ成立シタルニ在レハ第三第四ノ所爲ハ素ヨリ犯則トシ罰スヘキ
 モノニ非ス然ルニ之ヲ他人ト賣買シタルカ如ク判決シタルハ究竟ス
 ルニ製造小賣ノ二業ヲ兼ルノ資格ニ泥ミタルノ結果ニシテ本院檢事
 附帶上告論點ノ如ク右第三第四ノ所爲ヲ犯則トシ稅則第三十五條第

三十七條ヲ當行シタル部分ハ擬律ヲ誤リタル失當ノ裁判ナレハ破毀
 ノ原由アルモノトス

煙草稅則違犯 明治十九年
第五十七號

煙草賃切營業者ニ於テ自用者ノ委託ヲ受ケ賃錢ヲ得煙草ヲ刻ミ
 タルモノハ煙草稅則ノ制裁ハ受ケサルヤ否

福岡縣筑前國早良郡姪濱村平民諸品觸賣商石橋彌三郎ニ對スル
 被告事件

初審 福岡輕罪裁判所

本件ノ事實被告石橋彌三郎ハ煙草賃切鑑札ヲ受ケ其業ヲ營ミ居ル内
 自用者ノ委託ヲ受ケ賃錢ヲ得テ煙草ヲ刻ミタルモノニテ明治十八年
 十二月九日初審裁判所ニ於テ煙草稅則中之ヲ罰スルノ明文ナキモノ
 ト認メ刑法第二條ニ照シ無罪ノ言渡ヲ爲シタルニ之ヲ不當トシ同裁
 判所檢察官ハ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ煙草賃切人ハ製造人ノ煙草ヲ

賃切スルモノニシテ自用者ノ委託ヲ受ケテ賃切スルハ法ノ許サハル所ナレハ被告カ所爲ノ如キハ煙草稅則第二條第五條第三十四條ニ照シ相當ノ刑ヲ言渡スヘキニ原裁判茲ニ出サルハ擬律ノ錯誤ナルヲ以テ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告ハ其理由ナキモノト判定シ棄却シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則第二條刻煙草又ハ卷煙草等ヲ製造スル者ヲ煙草製造人トス但賃銀ヲ受ケテ他ノ製造人ノ煙草ヲ製造スル者ハ此限ニアラストアリ又明治十六年第二十號布達第一項ニ稅則第二條製造人ハ未製造ノ煙草ヲ耕作人又ハ仲買人ヨリ買入レ之ヲ製造シ仲買人又ハ小賣人へ賣渡スヲ云フトアリテ煙草製造營業ハ未製造煙草ヲ買入レ之ヲ製造シテ仲買小賣者ニ販賣スル者ヲ指稱セシ者ニシテ賃切人カ自用者ノ委託ヲ受ケ賃銀ヲ得テ該煙草ヲ刻ミタルノミヲ以テ直チニ製造營業權ヲ侵シタル者ト云フヲ得可カラサルモノナリ本按

被告人カ所爲ノ如キハ之レヲ制裁スル正條ナケレハ原裁判官ニ於テ無罪ヲ言渡シタルハ至當ニシテ擬律ニ錯誤アルコトナシ故ニ上告論旨ハ相立サルモノトス

煙草稅則違犯

明治十九年
第一千九十一號

自家吸煙ノ爲メ無免許ニテ人ヲ雇ヒ自作ノ煙草ヲ刻マシメタルモノハ煙草稅則ノ制裁ハ受ケサルヤ否

静岡縣駿河國富士郡粟倉村平民農渡邊德左衛門ニ對スル被告事件

初審 静岡輕罪裁判所

本件ノ事實被告渡邊德左衛門ハ自作ノ煙草ヲ自家吸煙料ノ爲メ無免許ニテ渡邊孫太郎ヲシテ刻マシメタルモノニテ明治十九年三月廿四日初審裁判所ニ於テ明治十五年第六十三號布告第五條第三十四條ニ依リ製造稅一ケ年分拾五圓ノ三倍四十五圓ノ罰金ニ處シ現在ノ刻煙

草四個ヲ沒收シ但葉煙草五貫目ハ被告ニ下ケ戻スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ上告ヲ爲ス其要旨ハ原裁判所ハ被告カ雇人ヲシテ自用ノ煙草ヲ刻マシメタル所爲ニ對シ煙草稅則第五條第三十四條ヲ適用シタルモ該稅則ハ營業者ニ對スル法律ニシテ被告カ如キ自作ノ煙草ヲ自用ノ爲メ刻マシメタル場合ヲ罰スルモノニアラス然ルニ被告ヲ罰シタルハ擬律錯誤ノ裁判ナルヲ以テ原裁判破毀ノ上更ニ無罪ノ裁判ヲ企望スト云ニアリ刑事局ニ於テハ上告論旨ニ基キ原裁判言渡ヲ破毀シテ治罪法第三百五十八條ニ依リ無罪ノ裁判ヲ爲シ但書ハ原裁判ヲ適當ノモノト認メタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク明治十五年第六十三號公布煙草稅則第三十四條ハ其明文ノ如ク營業鑑札ヲ受ケスシテ煙草營業ヲ爲スモノヲ制裁スルノ法章ニシテ其所謂營業トハ利ヲ得ルノ目的ヲ以テ常ニ煙草ノ賣買ヲ爲スモノヲ指シタルヤ論ヲ俟タスシテ明瞭ナリ而シテ本按被告ノ所爲

ハ原判文證明スル處ニ據レハ自作ノ煙草ヲ自用ノ爲メ他人ヲシテ刻マシメタルノ事實ニ過キサレハ之ヲ以テ無免許營業者ト云フヲ得ス然ルニ原裁判所ハ此事實ニ對シ煙草稅則第三十四條ヲ適用シテ處罰シタルハ上告論旨ノ如ク擬律ヲ錯誤セシ頗ル不法ノ裁判ナリトス

煙草稅則違犯 明治十九年
第一千二百六十九號

他人ヨリ其所有ニ係ル葉煙草賃切ノ依頼ヲ受ケ之ヲ製造シタルモノハ同稅則第十三條第四十一條ノ制裁ハ受ケサルヤ否
東京府芝區芝口二丁目榎溪利兵衛方同居平民無職業神谷幸八ニ對スル被告事件

初審 東京輕罪裁判所

本件ノ事實被告神谷幸八ハ曾テ兵庫縣播磨國明石郡明石中町四十二番地ニ居住煙草製造及小賣營業スル際明治十七年十二月中同縣兵庫西仲町煙草仲買兼小賣營業者タル石谷藤助ヨリ葉煙草八貫八百目ヲ

製造ノ委託ヲ受ケ已ニ其刻煙草ヲ製造シナカラ煙草稅則第十三條ノ手續即チ裝置ヲ爲サスシテ之ヲ藤助方ニ送致シタルノミナラス製造後既ニ乾燥セシ煙草ニ裝置ヲ爲サス無印紙ノ儘枇杷箱四個ニ入レ現ニ之ヲ所持シタルモノニテ明治十九年四月一日初審裁判所ニ於テ被告カ煙草ヲ製造シテ其裝置ヲ爲サ、ル二次ノ所爲ハ煙草稅則第十三條ニ違犯セシモノナルニ付同第四十一條ニ該リ無印紙煙草ヲ所持シタルハ同第三十五條ニ依リ同第四十六條ニ照シ刑法ノ數罪俱發例ヲ用井ス裝置ヲ爲サ、ルハ各罰金二圓無印紙煙草所持ノ廉ハ罰金拾圓通計十四圓ノ罰金ニ處スト言渡シタル裁判ニ對シ被告上告ニ及フノ要旨ハ第一被告ハ石谷藤助ヨリ煙草製造ノ依頼ヲ受ケタルニ非ス賃切ノ依頼ヲ受ケタルモノナリ然ルチ原裁判所カ製造ト見做シ事實ノ理由ヲ付セス前記ノ裁判ヲ爲シタルハ理由ノ不備擬律錯誤ナリトノ一第二ハ煙草稅則第三十五條ノ精神タルヤ未製造ノ煙草ニ迄印紙ヲ

貼用セシムルノ意ニ非サルヤ明瞭ナリ被告カ煙草ノ如キハ未製造ノミナラス未タ乾燥ニモ至ラサルニ原裁判所ハ之ヲ製造濟ト見做シ第三十五條ヲ適用シタルハ理由ノ不備擬律錯誤ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告第二ハ其理由アルモノト認メ治罪法第四百三十一條ニ則リ原裁判言渡ノ中藤助カ依頼ヲ受ケ葉煙草ヲ製造シタル所爲ニ係ル部分ヲ破毀シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク上告ニ因リ原判文ヲ閱スルニ製造後既ニ乾燥セシ煙草ヲ裝置セス無印紙ノ儘所持シタル所爲ニ對シ煙草稅則第十三條同第四十一條全第三十五條ニ照シ處斷シタルハ相當ニシテ上告ノ論旨ハ原判官ノ職權ヲ侵シ事實判定ニ對シ徒ラニ不服ヲ訴フルニ過キサレハ上告ノ原由トナスヲ得ス然レモ被告カ石谷藤助ヨリ委託ヲ受ケ葉煙草ノ製造ヲナシ裝置ヲナサス藤助ニ送致シタル所爲ニ對シ煙草稅則第十三條同第四十一條ニ照シ罰金ヲ科シタリ夫レ此所爲ヲシテ被

告上告論旨ノ如ク藤助ヨリ委託ヲ受ケタルハ葉煙草ノ賃切ナリトセ
 ハ素ヨリ税則第十三條全四十一條ノ制裁ヲ受ケ可ラサルモ若製造ノ
 依頼ヲ受ケ自己ノ所有ニ係ル葉煙草ヲ製造シ裝置ヲナサス印紙ヲ貼
 用セスシテ藤助ニ送致シタランニハ第三十五條無印紙煙草販賣ノ責
 チ免ルヘカラス故ニ此所爲ヲ斷スルニハ被告カ製造シタル煙草ハ藤
 助ヨリ送致シタル葉煙草ナリシヤ將自己所有ノ葉煙草ナリシヤヲ判
 別シタル上ニ非サレハ其賃切ナリシヤ否ヲ知ルニ由ナシ然ルヲ原判
 文ニ掲記ノ事實ニ因レハ石谷藤助ヨリ葉煙草八貫八百匁ヲ製造致シ
 吳ル、様委託ヲ受ケ已ニ其刻煙草ヲ製造シナカラ云々トノミアリテ
 果テ其葉煙草ハ藤助所有ナリヤ將タ被告所有ノ品ナリヤヲ明示セサ
 レハ其事實ノ如何ヲ識別スヘカラスレハ隨テ擬律ノ當否ヲ鑒查スニ
 由ナク所謂事實ノ理由不備ノ裁判ニシテ治罪法第四百十條第九項ニ
 定ムル上告ノ原由アリトス

煙草税則違犯 明治十八年
第六百四號

雇主自己ノ煙草出賣鑑札ヲ以テ雇人ヲ出賣セシメタル者ハ煙草
 税則第六條ノ制裁ハ被ラサルヤ否
 東京府麹町區平川町壹丁目拾四番地平民煙草商花岡幸七ニ對ス
 ル被告事件

初審 東京輕罪裁判所

本件ノ事實ハ被告幸七ニ於テ自己名義ノ出賣鑑札ヲ以テ雇人富永半
 兵衛ヲ出賣セシメタルモノニテ初審裁判所ハ右被告ノ所爲ヲ以テ煙
 草税則第六條ニ違反シ出賣鑑札ヲ受ケス其雇人富永半兵衛ヲ出賣セ
 シメ某ナル者ヘ紙卷煙草若干圓ヲ賣渡シタルモノト認メ煙草税則第
 三十八條ニ依リ罰金六圓ニ處シ賣渡代金若干圓ヲ追徴スル旨言渡シ
 タルニ被告ニ於テハ曩ニ營業鑑札ト共ニ出賣鑑札下渡ノ儀出願シタ
 ル所被告名義ノ鑑札三枚下附アリシ故之ヲ以テ出賣セシメタルモノ

ナレハ敢テ犯則ニアラサルニ原裁判所カ鑑札ヲ受ケスシテ出賣セシメシモノト爲シ所罰セシハ不當ナル旨上告シタリ然レハ刑事局ニ於テハ上告ノ理由ナキモノトシテ棄却セシモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則第六條ハ仕入人又ハ出賣人各自名義ノ鑑札ヲ携帶スヘシトノ法意ナルヲ其條文ニ依テ明瞭ナルノミナラス同則第十條ノ制定ニ依レハ鑑札ハ貸借賣買及讓渡ヲ爲シ得ヘカラサルモノナレハ必ラスヤ各自名義ノ鑑札ヲ携帶セサル可カラス故ニ縱ヒ被告名義ノ出賣鑑札ヲ受ケ居ルニモセヨ現ニ出賣セシメタル被告雇人富永半兵衛名義ノ鑑札ナキ以上ハ前第六條ノ支配ヲ免レサルニ依リ原裁判所於テ該條ニ照シ處斷シタルハ相當ノ裁判ニシテ上告論旨相立サルモノトス

煙草稅則違犯 明治十九年
第一千三百四拾四號

出賣鑑札ヲ携帶セス煙草ヲ賣捌キタルモノハ煙草稅則第六條第

三十八條ニ依テ處分ス可キモノナルヤ否

埼玉縣武藏國南埼玉郡東小林村五十六番地平民煙草小賣人中村

藤吉ニ對スル被告事件

初審 浦和輕罪裁判所

本件ノ事實被告中村藤吉ハ明治十九年三月十七日南埼玉郡越ヶ谷宿富澤久次郎宅前ニ露店ヲ開キ出賣營業ヲ爲シタル際出賣鑑札ヲ携帶セス刻煙草玉造百匁三個五匁八個五匁三十個拾匁貳個三拾匁紙包壹個ヲ代金壹圓貳拾四錢八厘ニ賣リ捌キタルモノニテ明治十九年三月二十九日初審裁判所ニ於テ右ノ所爲ハ煙草稅則第六條ニ背戾シタルモノト判定シ其第三十八條ニ依リ罰金五圓ニ處シ出賣現場ニ所持セシ犯罪ニ係ル煙草百匁玉造六十九個五匁拾貳個五匁四十五個三拾匁四個ヲ沒收シ仍ホ賣捌キ代金壹圓貳拾四錢八厘ヲ追徵スト言渡シタル裁判ニ對シ原裁判所檢察官ハ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ煙草稅

則第三十八條ニ仍ホ犯罪ニ係ル煙草ハ之ヲ沒收シ之ヲ賣捌キタル者
 ハ其代價ヲ追徵ストノ法文ハ第十四條第十五條第二十一條ノ違犯者
 ニ限リ適施スヘキモノニシテ第六條第二十三條第二十四條ノ違犯者
 ニハ適施スヘカラス然ルニ原裁判官ニ於テ第六條ノ違犯者ニ適用シ
 被告カ當時所持セシ煙草ヲ沒收シ又賣代金ヲ追徵シタルハ法文ヲ誤
 解シ擬律ヲ錯誤シタルモノナレハ此一部ノ裁判ノ破毀ヲ求ムト云フ
 ニアリ刑事局ニ於テハ其上告ハ破毀ノ理由ナキモノト認メ棄却シタ
 ルモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑煙草ノ營業ニ於ケル無鑑札ニテ營業スルヲ許サ、ル
 モノニシテ既ニ免許鑑札ヲ有スルモノト雖モ仕入出賣ヲ爲スニ當リ
 特ニ之レカ鑑札ヲ下付シ携帯スヘキヲ命スルモノナレハ鑑札ヲ示シ
 而シテ仕入ヲ爲シ鑑札ヲ携帯シ而シテ出賣店ヲ開ク可キノ成規ナル
 ハ論ヲ俟タス然レハ鑑札ト其實買品即チ煙草トハ尤モ關係アルモノ

ニシテ煙草稅則第三十八條中ニ於テ第二十四條第三十三條等ノ場合
 ト等シク論スヘキモノニアラス茲ヲ以テ行商鑑札ヲ携帯セス出賣ヲ
 爲スモノニ在テハ其出賣ヲ爲ス所ノ煙草及ヒ賣代金ハ犯罪ニ係ルモ
 ノトシ沒收追徵ノ言渡ヲ爲ス可キモノナリトス

煙草稅則違犯 明治十八年
第七百二十號

無鑑札ニテ無印紙煙草賣買ヲ爲シタルモノハ同稅則第三十四條
 ニ依リ罰スレハ足レリヤ又無印紙煙草買受ト賣渡ノ所爲トチ各
 別ニ罰スヘキヤ否

德島縣阿波國三好郡中ノ庄村七十八番地平民名東郡德島町八十

六番地寄留松浦吉太郎ニ對スル被告事件

初審 德島輕罪裁判所

本件ノ事實被告松浦吉太郎ハ明治十七年十二月二十七日頃無印紙
 煙草玉造袋入都合二十一個ヲ代金壹圓ニテ内田仁三郎ヨリ買受ケ而

シテ營業鑑札ヲ受ケス右煙草ノ内拾二箱ハ仁三郎ヲシテ他ニ小賣ヲ爲サシメタルモノニテ明治十八年五月十三日初審裁判所ハ被告ヲ煙草稅則第三十四條第三十五條第三十七條第三條第四條第四十五條第十一條ニ依リ無鑑札ニテ小賣營業シタル營業稅半年分罰金若干圓及無印紙煙草ヲ買受ケタルハ罰金若干圓賣渡シタルハ罰金若干圓ヲ併科シ仍ホ其現在スル煙草八個ヲ沒收シ其賣捌代金若干ヲ追徴スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ本件ノ刻煙草ハ内田仁三郎カ自カラ賣却シタルモノニシテ被告ハ只其依頼ヲ受ケ賣代金ヲ受取タルニ過キス然ルニ前掲ノ如ク處罰セラレタルハ不服ナリ云々ト論シ上告ヲ爲シ原裁判所檢察官ハ附帶上告ヲ爲シタリ其要領ハ煙草稅則第三十四條ハ無印紙又ハ不足印紙ノ刻煙草ヲ賣買シタル所爲等ヲモ包含シ共ニ懲罰スルノ精神ニ因リ設置セシモノナルニ原裁判官ハ無鑑札ノ所爲ヲ全條ニ照シテ罰シナカラ尙ホ無印紙賣買ノ所爲ヲモ處罰シタルハ

擬律ノ錯誤ニ出タル違法ノ裁判ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ被告カ上告ハ棄却シ附帶上告ノ論旨ニ基キ同法第四百二十九條ノ法則ニ法リ原裁判言渡ヲ破毀シ更ニ被告吉太郎ヲ煙草稅則第四條第五條第十一條第十二條及第三十四條ニ照シ營業稅半年分貳圓五拾錢ノ三倍七圓五拾錢ノ罰金ニ處シ仍ホ現在スル煙草八個ヲ沒收シ其賣捌代金五拾貳錢ヲ追徴シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク被告カ上告論旨ハ原判官ノ職權ヲ以テ正當ニ爲シタル事實ノ判定ニ對シ徒ニ不服ヲ唱ヘ妄ニ之ヲ動かサント試ムルニ過サレハ元ヨリ採用スルニ由ナシト雖モ原檢察官カ附帶上告論旨ノ如ク被告ノ所爲ハ唯其無鑑札營業ノ一罪ヲ罰スレハ足レルモノニシテ他ノ細則ニ背キタル廉迄一々科罰スヘキモノニ非ス何トナレハ他ノ細則ニ至テハ免許鑑札ヲ受タル正當ノ營業者ニ對シ定メタル法規ニシテ煙草稅則第三十四條ハ無印紙賣買等ノ所爲ヲモ總括シテ懲罰スル

ノ法則ナレハナリ然ルニ原裁判所ニ於テ無鑑札營業ノ點ヲ罰シナカ
ラ尙ホ無印紙賣買ノ廉ヲ別ニ問フタルハ即チ法律ノ適用ヲ誤リタル
不法ノ裁判ナリトス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第千百貳號

帳記ヲ爲サス無印紙ノ煙草ヲ販賣スルモノハ固ヨリ脫稅ノ罪ハ
免レスト雖モ其帳記ヲ爲サルハ脫稅ノ目的タル手段ニ過スト
シ罰セサルモ可ナルヤ否

愛媛縣伊豫國東宇和島郡卯ノ町平民煙草製造兼小賣營業曾我富
三郎ニ對スル被告事件

初審 宇和島 支廳

本件ノ事實被告曾我富三郎ハ無印紙刻煙草ヲ低價ニ賣捌カント決意
シ明治十八年七月伊豫國喜多郡大洲柳澤村地方ヨリ葉煙草八拾六丸
ヲ買入其内四拾三丸ハ同月ヨリ明治十九年八月上旬迄ノ間自宅ニ於

テ製造シ百三拾壹貫目ノ刻煙草ヲ得該煙草ノ内六貫目即チ百目玉六
拾箇ハ備中製刻煙草ヨリ採取タル古印紙ヲ再帖用シタル儘更ニ相當
ノ印紙ヲ貼用セスシテ之ヲ所持シ又百貳拾五貫目ハ無印紙ニテ之ヲ
他ニ賣捌キ其代價上等拾貳貫五百目ハ壹百目九錢ノ割合中等下等合
計百拾貳貫五百目ハ平均百目四錢ノ割合ニテ總計金五拾六圓貳拾五
錢ヲ得タリ又豫テ大阪府平野町岡利平ヨリ買入レタル備中國高粱南
町相原定吉製造刻煙草百五拾貫目ノ内拾壹貫五拾匁ハ印紙ヲ採取リ
無印紙ニテ代價百目九錢ノ割合ヲ以テ合計金九圓九拾四錢五厘ニ氏
名不詳者ヘ賣捌キ同百五拾匁ハ無印紙ニテ販賣ノ爲メ所持シタリ而
シテ其煙草製造帳ヘ右ノ葉煙草八拾六丸ヲ買入レシヲ及其内四拾三
丸ヲ製造セシヲ及他ニ賣捌キタルヲ煙草小賣帳ニ記載セス又明治
十九年七月管轄廳ヘ差出シタル届書中前顯煙草買入高製造高賣捌高
等ヲモ記載セス詐偽ノ記載ヲ爲シタルモノニテ明治十九年八月三十

日初審廳ニ於テ被告カ所爲ハ數多ノ犯罪ヲ組成スルカ如シト雖モ無印紙煙草ヲ賣捌ク目的ニテ其歸着スル所ハ唯無印紙刻煙草賣捌キ及所持ノ罪ト印紙再貼用ノ二罪ヲ犯シタルモノト判定シ第一ノ所爲ハ煙草稅則第三十五條ニ依リ罰金拾圓ニ處シ賣捌代金總計金六拾六圓拾九錢五厘ヲ追徴シ第二其印紙再貼用罪ハ刑法第九十九條ニ依リ罰金貳圓ニ處シ被告カ帳簿ノ登記又ハ届書ヲ詐リタルハ單ニ無印紙刻煙草賣捌キノ一手段タルニ過キス故ニ被告カ無印紙刻煙草賣捌及所持罪ニ因テ處斷ヲ受ケタル以上ハ毫モ他ニ脫稅ノ弊害ナク隨テ更ニ二重ノ罰ヲ科スヘキモノニアラス又被告人カ煙草製造人タルノ資格アル自身ヨリ煙草小賣人タル資格ヲ以テ無印紙ノ刻煙草ヲ自身ニ買入レタルハ眞ノ賣買ニアラサレハ煙草稅則第三十七條ノ制裁ヲ受クヘキモノニ非サレハ免訴ス且差押ヘタル煙草及帳簿ハ還付スト言渡シタルニ原裁判所檢事ハ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ被告ハ原裁判官

カ認メタル事實ナルヲ以テ葉煙草ヲ買入レ之ヲ製造シ小賣ヲ爲シタル其都度之ヲ帳記スヘキモノニシテ即チ稅則第三十六條ノ設ケアル所以ナリ又被告ハ稅則第二十三條ノ明文ニ從ヒ製造人小賣人ノ兼業ヲ爲スタメ鑑札ヲ願下ケ而シテ無印紙又ハ再貼用ヲ以テ小賣ヲ爲シタルモノナリ其結果ヲ見テ帳記ヲ爲サス詐僞ノ届書ヲ差出シタルハ單ニ無印紙刻煙草賣捌キノ一手段ニシテ逃稅ノ目的タルニ過キスト斷定シタルハ不法ナリ又判決文中該犯罪ハ製造人ノ資格中ニアリヤ小賣人ノ資格中ニ屬ス可キモノナリヤチ明記セサルハ事實ノ理由チ欠キタルモノナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告第一ノ論旨ハ其理由アルモ後段上告ハ其理由ナキモノト認メ治罪法第四百三十一條ニ依リ原裁判ノ一部即チ煙草帳簿ノ登記又ハ届書ヲ詐リタル所爲ニ對スル擬律ヲ破毀シ更ニ煙草稅則第三十六條ヲ適用シ拾圓以上百圓以下ノ範圍内ニ於テ富三郎ヲ罰金拾貳圓ニ處シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則第二十三條ハ煙草營業者ニ對スル命令法ニシテ營業者タルモノハ何レノ時ヲ問ハス之ヲ遵奉セサルヘカラス然ルニ詐テ帳簿ノ登記ヲ爲サ、ル者ニ於テハ煙草稅則第三十六條ニ其制裁アルモノナルヲ以テ無印紙ノ刻煙草所持販賣ノ罪ヲ問フ場合ニ於テモ必ス之ヲ問ハサルヲ得サルモノナルニ原裁判官ニ於テ其詐テ帳簿ノ登記ヲ爲サ、ルノ所爲ヲ認メナカラ之ヲ不問ニ付シタルハ法律ノ見解ヲ誤ルモノニシテ法律ノ所謂擬律ノ錯誤ナリトス因テ上告第一ノ論旨ハ其原由アルモノトス然レモ被告人ハ製造小賣ヲ兼テタル煙草營業人ナルヲ以テ其製造資格ニ於テ帳簿ノ登記ヲ詐リタルト小賣資格ニテ之ヲ詐リタルト各自之ヲ所罰スヘキニアラサレハ原判文ニ之レカ資格ヲ明示セサルモ事實理由ノ不備トシ論スルノ限ニアラストス

煙草稅則違犯明治十九年第四百四十八號

他人ノ依頼ヲ受ケ煙草ヲ買取ルモ別ニ營利ノ目的ナキモノハ煙草稅則ノ制裁ハ受ケサルヤ
 高知縣土佐國高岡郡市野々村平民諸品小賣商窪田龜太郎ニ對スル被告事件

初審 高知輕罪裁判所

本件ノ事實被告窪田龜太郎ハ明治十九年五月三十日初審裁判所ニ於テ煙草小賣鑑札ヲ願受ケス明治十六年十二月三十日ヨリ全十七年十一月二十一日ニ至ル間刻煙草量目不詳ヲ同郡高岡村久禮田某外七名ヘ賣渡シ其代金三十二錢ヲ得タルモノト判定サレ煙草稅則第三十四條ニ依リ同則第十一條同第十二條ニ照依シ罰金貳拾貳圓五十錢ニ處シ賣捌代金三拾二錢ヲ追徵スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ上告ヲ爲ス其要旨ハ被告ハ平素諸品小賣ヲ業トスルモノニテ或某者等ヨリ便宜上煙草買入レ方ヲ依頼セラレ序ヲ以テ代金ヲ取替ヘ之ヲ買求メ

遣ハシ該取替代金ノ仕拂ヲ受ケサリシ分ヲ帳簿ニ記載シ置キタル迄
 ニテ自カラ賣捌キタルニアラサレハ罰ヲ受クルノ理由ナシト云フニ
 アリ又立會檢事附帶上告ノ要領ハ本案ノ如キ特別ノ犯者ニ在テハ必
 ス特別ノ事實即チ利益ヲ得タルヲ買求ノ依頼ナキニ係ラス諸品小賣
 營業ノ一物件トシテ烟草ヲ仕入レタルヲ等ノ事實ヲ揚ケサルヘカラ
 ス然ルニ原判文上此等ノ事實理由ヲ明示セサルハ不當ノ裁判ナルヲ
 以テ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ附帶上告ニ基キ治罪法
 第四百二十八條ニ則リ原裁判言渡ノ全部ヲ破毀シタルモノニ係ル
 其理由ニ曰ク煙草營業者ニハ三種ノ別アリ其營業ノ種類ニ因リ税金
 額ニ區別アルコトハ煙草稅則第一條第十一條ニ明記スル所ナレハ該則
 違犯事件ヲ審判スルニハ右事實ヲ審究判明スルハ最モ緊要タリ然ル
 ニ原判文上被告ハ煙草小賣鑑札ヲ願受ケス明治十六年十二月三十日
 ヨリ明治十七年十一月廿一日ニ至ル間刻煙草量目不詳ヲ同郡高岡村

久禮田某外七名ハ賣渡シ代金三十二錢ヲ得タルモノト判定ストアル
 モ其買取者タル久禮田某外七名ハ自用者ナル乎將テ煙草小賣營業者
 ナルヤヲ明示セス試ニ一件書類ヲ審査スルニ被告人ハ職業上物品仕
 入ノ際他人ノ依頼ヲ受ケ煙草買入方ノ取次ヲ爲シタル迄ニシテ別ニ
 營利ヲ目的トセシ者ニアラサルカ如シ果シテ然ラハ煙草稅則違犯者
 ナリトスルヲ得ス畢竟原裁判ハ治罪法第三百四條ニ違背シ事實理由
 ノ明示ヲ欠キタルモノナレハ未タ以テ擬律當否ヲ鑑査スルニ由ナク
 即チ本院檢事付帶上告旨趣ノ如ク原裁判ハ破毀ノ原由アルモノトス
 已ニ此點ヲ以テ破毀スヘキモノト判定スルニ依リ被告カ上告旨趣ニ
 對シ別ニ辨明ヲ要セス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙七百三十號

無印紙ノ煙草ヲ買受ケタルモノト讓受ケタルモノト數回回二ノ所
 爲ハ格別ニ處分スヘキヤ將テ連續犯ヲ以テ論スヘキモノナルヤ

否

四百三十八

滋賀縣近江國蒲生郡今寄村平民煙草小賣營業人和田勘五郎ニ對スル被告事件

初審 大津輕罪裁判所

本件ノ事實被告和田勘五郎ハ第一和田磯五郎ヨリ無印紙煙草ヲ買受ケ第二刻煙草ヲ無印紙ニテ賣渡シ又ハ所持シ第三紙袋入ノ刻煙草ヲ無印紙ニテ右同人ヨリ讓受ケタルモノニテ明治十九年八月十八日初審裁判所ニ於テ第一ハ煙草稅則第三十七條前項ニ依リ罰金五圓第二ハ同第三十五條ニ照シ罰金十圓ニ處シ仍ホ賣代金九錢ヲ追徴シ第三ハ同第三十七條後項ニ依リ罰金五圓ニ處スト言渡シタルニ之ヲ不當トシ上告ヲ爲シタリ其要領ハ第一第二ノ裁判ハ承服スルモ第三ハ承服スル能ハス其理由ハ和田磯五郎ナル者ハ自分ノ實子ニシテ曾テ煙草製造兼小賣ヲ營業トナシ居リタルモ都合アリ其小賣ハ廢業シタル

ニ當時即チ自分カ小賣營業鑑札下附以前ニ在リ賣殘リノ百目玉壹個同人ヨリ飲用ノ爲メ讓受ケ現ニ四錢印紙ハ貼用シアリシモ之ヲ解キ紙袋ニ入レ自用ニセシモノナルハ同人製ノ印判押捺シアル印紙ノ現在スルニ因テ明カナリ然ルニ之ヲ検査官ニ指示スルモ其煙草ニ用ヒタルモノナル歟將タ不分ナリトテ採用ナク其印紙ハ引裂キ捨テラレタル事實ナリ然ルチ原判文ニハ紙袋入ノ刻煙草百目ヲ無印紙ノ儘磯五郎ヨリ讓受ケタルモノト判定サレタルハ了解シ能ハサルノミナラス別ニ紙袋入百目トハ無印紙ニテ賣却スルノ目的ニテ所持シ居リトアルハ検査官ノ想像壓制ニ出テタルモノナリ因テ公明ノ裁判ヲ求ムト云フニ在リ刑事局ニ於テハ原裁判中上告ニ係ル部分ヲ破毀シ之ヲ取消シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則第三十七條ニ(煙草營業者ニシテ無印紙云々ノ刻煙草ヲ買受ケタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス之ヲ借受

四百三十九

讓受ケタル者モ同ク其罪ヲ論ストノ規定アルヲ以テ無印紙ニテ讓受ケタルハ飲用ノ爲メナルト販賣ノ爲メナルトヲ問ハス其責メ免ルルヲ得サルモノナレハ被告人ニ於テ自用ノ爲メ讓受ケタルモノナルヲ以テ該條ノ制裁ヲ受クヘキモノニ非スト云フヲ得ス又其讓受ケタル煙草ニハ印紙ヲ貼用シ在リタルモノナルヤ否ナ之ヲ判定スル如キハ原裁判官ニ特任スル所ナルヲ以テ其職權上既ニ無印紙即チ印紙ヲ貼用セサリシモノト認メタル以上ハ他ヨリ漫ニ左右スルヲ得サルモノトス其他検査官ノ壓制云々ノ如キハ一モ他ニ徵スヘキ事蹟ナク被告一人ノ苦情ニ過キサレハ隨テ之ヲ採用スルニ由ナシトス因テ上告ノ論旨ハ總テ相立タサルモノトス然リト雖モ所爲ハ繼續セス一次毎ニ成立スルト雖モ其意思ノ繼續ニ因テ成立スル所ノ犯罪ノ如キハ之ヲ數罪トナサス連續犯トナシ一所爲トシテ罰スヘキモノトス故ニ被告入於テ煙草製造人和田磯五郎ヨリ明治十九年六月ト七月トノ兩度

ニ無印紙刻煙草ヲ買受ケ又ハ讓受ケタルカ如キハ等ク右第三十七條ノ違犯者ニシテ其買受ケト讓受ケトノ罪ハ各別ニ成立スルト雖モ是レ意思ノ繼續ニ係ル連續犯タルニ外ナラサルヲ以テ之ヲ各別ニ罰スヘキモノニ非ス一所爲トシ處斷スヘキモノトス然ルニ原裁判官於テ其事實ヲ認メナカラ之ヲ二罪トナシ處斷シタルハ擬律ニ錯誤アル失當ノ裁判ナルヲ以テ此部分ヲ破毀ノ原由アルモノト裁定ス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第八百八十二號

煙草小賣營業ノ目的ヲ以テ無鑑札ニテ煙草ヲ買入レタルモノハ未タ之ヲ販賣セサルモ同稅則ノ制裁ヲ受クルヤ否

茨木縣常陸國那珂郡港村平民農白土龜吉ニ對スル被告事件
初審 水戸輕罪裁判所

本件ノ事實被告白土龜吉ハ煙草小賣鑑札ヲ受ケス明治十九年八月五日ノ夜同村某ヨリ代金五十二錢ヲ以テ刻煙草八百目ヲ買受ク同六日

大野村ニ於テ小賣セントスル途中巡查ニ差押ヘラレタルモノニテ明治十九年九月十六日初審裁判所ニ於テ被告ハ未タ小賣ヲ爲シタルモノニアラサレハ其所爲ハ罪ト爲ラスト判定シ治罪法第三百五十八條ニ照シ免訴ス押收シタル煙草ハ被告ニ還附スト言渡シタル裁判ニ對シ原裁判所檢察官ハ擬律ヲ誤リタル裁判ナリトシ上告ヲ爲シタリ刑事局ニ於テハ其上告論旨ニ基キ原裁判ヲ破毀シ被告カ所爲タル煙草稅則第五條第十二條但書ニ背キ全第十一條末項ノ税金半額ヲ逋脱シタルモノト認メ全第三十四條ニ依リ營業稅半額二圓五十錢ノ三倍罰金七圓五十錢ニ處シ現在ノ煙草八百目ヲ沒收シタルモノニ係ル其理由ニ曰ク抑本件營業ノ如キ煙草ノ賣不賣ヲ以テ營業ト否トヲ分ツヘキモノニ非サレハ苟シクモ小賣營業ノ目的ヲ以テ煙草ヲ買入レ既ニ之ヲ販賣セント其途ニ就キシ以上ハ即チ營業ヲ決行シタリト云フ可キハ論ヲ竣タス今原判文ヲ觀レハ被告カ煙草小賣免許鑑札ヲ受

ス明治十九年八月五日ノ夜同村某ヨリ代金五十二錢ヲ以テ刻煙草八百目ヲ買受ケ之ヲ明治十九年八月六日朝云々大野村ニ小賣セント立越途中云々巡查石津繁次ヨリ差押ラレタルハ云々トアリテ既ニ營業ヲ實行シタル事實ハ明確ナルヲ以テ即チ煙草稅則第三十四條ニ依リ處斷スヘキハ當然ナルニ未タ賣ラサルヲ以テ罪ト爲ラサルモノトシ治罪法第三百五十八條ニ照シ免訴ヲ言渡シタルハ上告論旨ノ如ク擬律ヲ誤リタル失當ノ裁判ナリトス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第七百九十七號

煙草買入帳ヲ調製セズ煙草ヲ買入ノ之ヲ販賣シタルモノハ煙草稅則第二十三條第三十八條ノ制裁ヲ受クルヤ否(第三十八條末項ノ精神如何)

鹿兒島縣薩摩國鹿兒嶋郡車町六十五番地平民煙草製造小賣營業
藤井孫太郎ニ對スル被告事件

本件ノ事實被告藤井孫太郎ハ明治十九年八月六日乃至同月十二日煙草買入帳ヲ調製セス量目五匁ノ玉造裝置ニ係ル煙草三百七十八個五十匁紙包煙草十個ヲ買入レ之ヲ代金五圓四十三錢ニ販賣シタルモノニテ初審裁判所ニ於テハ煙草稅則第二十三條第三十八條ニ依リ罰金五圓ニ處シ賣代金五圓四十三錢ヲ追徵スト言渡シタリ被告ハ之ヲ不當トシ上告ヲ爲ス其要旨ハ帳簿ヲ製セサルニアラス畜狗或ハ小兒ノ爲メ紛失セシモノナリ而シテ被告ハ帳簿ヲ製セサルヲナキテ自認セシ如ク想像シ刑ヲ言渡シタルハ不法ナルヲ以テ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ被告カ上告ハ其理由ナキモ被告カ所爲ヲ煙草稅則第二十三條ニ違犯セシモノトナシナカラ賣代金五圓四十三錢ヲ追徵スト言渡シタル裁判ハ不法ノモノト認メ治罪法第四百三十一條ニ則リ此一部ノ裁判ヲ破毀シ取消シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク上告ヲ爲シ得ルハ治罪法第四百十條各項中ニ適當スルノ原由ナカルヘカラス今本按上告旨趣タル前掲ノ如ク調製シ置ク買入帳ノ一時紛失セシ迄ニテ決ノ調製セサルニアラス又タ被告ニ於テ調製セサル旨ヲ自認セシ事ナキニ自認セシモノ、如ク想像ヲ以テ判定ヲ下サレタルハ不法ナリト云ト雖モ原書類ニ徵スルニ検査官ニ差出シタル手續書及ヒ公廷ノ陳述ニ於テ煙草買入帳ヲ調製セサリシコトハ自陳シアリテ法官カ想像ノ判定ト云テ得サルノミナラス其判定ニ對シ苦情ヲ論訴スルニ止レハ一モ前條各項ニ適合スルノ原由ト爲スニ足ラサルモ被告カ所爲ヲ煙草稅則第二十三條ニ違犯セシモノトシナカラ賣代金五圓四十三錢ヲ追徵スト言渡シタルハ違法ノ裁判ナリトス何トナレハ該則第三十八條末項ニ其代價ヲ追徵ストアルハ犯罪ニ係ル煙草ニ直接關係スル部分即チ同則第六條第十四條第二十一條ニ違背スルホチ指示シタルモノニシテ第二十三條第二十四條ノ違犯

者ニ當行スヘキモノニアラサレハナリ故ニ此點ハ擬律錯誤ナルヲ以テ破毀ノ原由アルモノト判定ス

煙草稅則違犯明治十九年
第七百貳拾四號

本社外ニ支社ヲ設ケ營業スルニ於テハ別ニ支社所屬ノ帳簿ヲ調製スヘキモノナルヤ否

又支社ニ於テ帳簿ヲ調製セス隨テ印紙買入及煙草賣買ノ登記ヲ爲サル場合ニ已ニ本社ニ於テ同一ノ犯則ニ由リ處分ヲ受ケタルキハ支社ハ其處罰ヲ要セサルヤ否

福井縣越前國大野郡中野村四十壹番地平民金森治郎右衛門ニ對スル被告事件

初審 福井縣輕罪裁判所

本件ノ事實被告金森治郎右衛門ハ先キニ萇益社々長中明治十六年十月廿二日該社ノ狹隘ナルヨリ一ノ支社ヲ設ケ既ニ製造營業鑑札ヲ受

ケタリト雖也該支社ニ屬スル所ノ帳簿ヲ別ニ調製セサルモノニテ明治十九年四月十九日初審裁判所ニ於テ支社ハ畢竟本社ニ屬スル一ノ職工場ニ異ナラサルモノナレハ支社ノ帳簿トシテ別ニ調製セサルモ本社ノ帳簿ニ含有スルヲ以テ罪トナラサルモノトシ又支社ニ於テ煙草印紙ノ買受ケ高其買入場所及ヒ使用高ヲ帳簿ニ登記セサリシハ向キニ本社ノ帳簿ノ登記ヲ詳カニセス且登記ヲ詐リタルモノトシ處分セラレシヲ以テ治罪法第二百二十四條ニ照シ免訴ス但差押タル帳簿ハ還付スト言渡シタリ原裁判所檢察官ハ之ヲ不當トシ上告ヲ爲ス其要領ハ元來本件ノ支社ハ製造營業ノ免許鑑札ヲ受ケ獨立ノ資格ヲ以テ營業スル場所ナレハ本社ニ屬スル職工場ニアラサレハ諸帳簿ヲ備置クヘキモノナリ又煙草印紙買受ケ高云々ヲ以テ治罪法第二百廿四條ニ照シ免訴ノ言渡ヲ爲シタル裁判ハ嚮キニ本社ニ於テ諸帳簿ノ登記ヲ詐リ脫稅ヲ謀リタルヲ以テ既ニ處斷セラレタル帳簿ニシテ本訴

ニハ關係ナク只事實參考ヲ爲メ差押ヘタル帳簿ニ如斯言渡ヲ爲シタルハ無形ノ裁判ニシテ其意ヲ解スル能ハスト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告ノ旨趣ニ基キ治罪法第四百二十九條ニ照シ原裁判ノ擬律ヲ破毀シ直ニ被告治郎右衛門ヲ第一莫益社支社ニ於テ煙草稅則第二十三條ニ規定ノ帳簿ヲ調製セザリシ所爲ハ同則第三十八條ニ依リ罰金五圓ニ處シ第二其支社ニ煙草印紙買入帳ヲ備ヘス從テ同則第二十六條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲サルノ所爲ハ同則第四十二條ニ依リ罰金貳圓ニ處シ但書ノ原裁判ヲ適當ノモノト認メタルモノニ係ル其理由ニ曰ク原裁判所ノ認定シタル事實ニ據ルニ被告人ハ莫益社ノ社長中一ノ支社ヲ設ケ既ニ營業鑑札ヲ受ケタリト云フニアレハ假令其支社ハ本社一ノ職工場ニ異ナラサルモノナリトモ營業鑑札面ニ於テ一ノ煙草營業場ト認メサルヲ得サルモノナルヲ以テ其支社ニ於テハ煙草稅則第二十三條ノ規定ニ遵ヒ帳簿ヲ調製シ其支社ノ營業ニ關

スル事業ハ式ノ如ク記載セサルヲ得サルモノニシテ本社ノ帳簿ニ合記スヘキモノニアラス抑帳簿ノ調製及ヒ其登記ヲ規則ノ命スルモノハ營業場ニ就キ之レカ調査ヲ爲スノ用ニ供スルニ外ナラサレハ本支社一ノ帳簿ニテ足ルヘキモノニアラス又煙草印紙ノ買受高其買入場所及ヒ使用高モ支社ハ其支社ノ分ヲ各別ニ登記シ置カサルヲ得サルモノコナテ其帳簿ヲ備ヘス從テ其登記モ爲サルニ於テハ煙草稅則ノ規定ニ反スル所爲ナルヲ以テ假令本社ノ帳簿ニ記載アリトモ記スヘカラサルノ帳簿ニ記シタリト云フニ過キスシテ之レヲ以テ支社違則ノ責任消滅スヘキニアラサレハ被告カ第一ノ所爲ハ煙草稅則第二十三條ニ違犯シタルモノニシテ第三十八條ノ制裁ニ依ルヘキモノ第二ノ所爲ハ同稅則第二十六條ノ違犯ニシテ第四十二條ノ制裁ニ係ルモノナルニ原裁判茲ニ出サリシハ擬律ノ錯誤ニシテ上告ノ旨趣ハ其原由アルモノトス

煙草稅則違犯明治十八年
第二百五九十四號

人ヲ教唆シ無鑑札ニテ煙草小賣ヲ爲サシメタルモノハ同稅則ノ
制裁ハ受ケサルヤ將テ刑法第百五條ヲ適用シ處分スヘキヤ

高知縣土佐國土佐郡通町百六十四番地平民煙草製造兼煙草小賣
營業渡邊爲二ニ對スル被告事件

初審 高知輕罪裁判所

本件ノ事實被告渡邊爲二ハ島田勝馬ヲ教唆シ無鑑札ニテ煙草小賣營
業ヲ爲サシメタルモノニテ明治十八年七月十日初審裁判所ハ右被告
ヲ煙草稅則第十一條第三十四條及ヒ刑法第百五條ニ依リ連脫ニ係ル
營業稅五圓ノ三倍若干圓ノ罰金ニ處スト言渡シタルニ被告ハ之ヲ不
當トシ被告ニ於テハ島田勝馬ヲ教唆シタル事ナシ始審判官ハ定價ヨ
リ引下ケ賣却シタルヲ罪證トシタルモ物價下落シ金融不辨ナリシヨ
リ引下ケ賣渡シタルモノナレハ罪證トナルヘキモノニ非ス又勝馬ニ

於テ被告爲二ノ指示ニ依リ小賣ヲ爲シタリトノ點ハ只彼ノ片言ニ止
マリ同人カ自己ノ罪ヲ免ル、ト思量シテ斯証告セシニ過キス又被告
カ始審廷ニ於テ爲シタル陳供ヲシテ罪證トセラレシモ實際ノ事實ヲ
陳供セシニ付一モ罪トナルヘキ點アル謂ナシ是等ヲシテ罪アリトス
レハ其理由ヲ付スヘキ筈ナルニ果シテ其罪トナルヘキ理由ナキヲ以
テ之ヲ付セサル明瞭スヘシト論シ上告ヲ爲シ大審院立會檢事ハ附帶
上告ヲ爲シタリ其主旨ハ煙草稅則ハ刑法ト異ナリ收稅上一ノ取締法
ニ過サレハ其之レカ營業者タルモノ特リ其責ニ任スヘクシテ他ノ正
犯從犯ニ及ハサルヤ同則第四十七條ノ文意ニ徴シテ明ラカナリ然ラ
ハ同則第四十六條ニ所謂刑法ノ不論罪及減輕再犯加重數罪俱發例ノ
外猶數人共犯例モ亦之ヲ適用スヘカラサルヤ當然ナリトス然ルニ原
裁判被告ノ所爲即無免許營業ヲ教唆シタル所爲ニ對シ刑法第百五條
ヲ適用シ處分シタルハ不當ニシテ擬律ノ錯誤ニ係ルモノニ付破毀更

正ヲ要求ス但シ本案被告ノ所爲ハ假リニ共犯ヲ以テ論スヘキモノト
スルモ半ケ年分ノ營業稅ノ三倍ノ罰金ニ處スヘキニ一ケ年分ノ營業
稅三倍ノ罰金ヲ科シタルハ不法ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ付
帶上告論旨ハ適法ニシテ原裁判所カ認メタル事實ハ法律上罪トナラ
サルモノトシ治罪法第三百五十八條ニ依リ無罪ノ言渡ヲ爲シタルモ
ノニ係ル

其理由ニ曰ク刑法第五條第一項ノ法文ニ刑法ニ正條ナクシテ他ノ法
律規則ニ刑名アルモノハ各其法律規則ニ從フト在リ而シテ刑法ハ罪
ヲ犯ス其人ヲ罰スルノ精神ニ出シモノナルヲ以テ人ヲ教唆シテ罪ヲ
犯サシメ又ハ誘導幫助シテ犯罪ヲ容易ナラシメタル者即チ共ニ罪ヲ
犯スノ其人ナルヲ以テ刑法上其制裁アル所ナリト雖モ煙草稅則違犯
者ノ如キハ全ク之ニ反シ其犯則チ爲ス其人ノ誰タルヲ問ハス一ニ其
營業者ヲ處罰スルニ在リ是則法文ノ所謂他ノ法律規則ニ刑名アルノ

故チ以營業者其犯則チ親カラ爲サル場合ニ於テモ營業者ヲ處罰ス
ルニ在リ然レハ煙草營業上ニ於ケル犯則ノ事ニ關シ他人之ヲ教唆ス
ルモ之ヲ刑法ニ掲クル教唆者トシ論スルヲ得ス必ス他ノ法律規則ニ
從フヘキモノニシテ本院檢事附帶上告論旨ハ法律ニ適シタル論理ナ
リトス因テ原裁判所カ罰則ノ制裁ヲ及ホスヘカラサルモノニ對シ之
ニ罰金ヲ科シタルハ擬律ノ錯誤ナリトス此點ニ付破毀ノ原由ヲ認ム
ルヲ以テ上告ノ趣意及ヒ此他ノ附帶上告點ニ付テハ辨明ヲ與ヘス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第四百十四號

營業鑑札ヲ受ケス他ヨリ煙草ヲ買受ケ之ヲ販賣シタル金額ヲ知
ルニ由ナキモノハ其原價ヲ以テ賣代金ト判定シタルハ其當ヲ得
タルヤ否

高知縣土佐國高岡郡浦ノ内村平民農吉永萬吉ニ對スル被告事件

初審 高知輕罪裁判所

本件ノ事實被告吉永萬吉ハ煙草小賣營業鑑札ヲ受ケス明治十八年九月中煙草製造人柏木金三郎ヨリ刻煙草二貫目ヲ代金壹圓八十七錢五厘ヲ以テ買受ケ其後煙草製造人濱田松次外一名ヨリ刻煙草二百三十目ヲ買受ケ右金三郎ヨリ買受ケタル煙草ノ内六十匁松次等ヨリ買受ケタル煙草ノ内九十匁ヲ除クノ外共ニ買受ケノ當時ヨリ明治十九年四月二十八日迄ニ自宅ノ店頭ニ於テ自用者數名ニ賣捌キ其金三郎ヨリ買受ケ賣捌キタル分ハ賣代價ヲ知ルニ由ナシト雖モ松次等ヨリ買受ケタル分ハ代價二十錢ニ賣捌キタルモノニテ明治十九年五月二十九日初審裁判所ニ於テ煙草稅則第三十四條同第四條同第十一條同第十二條ニ照シ一ヶ年營業稅五圓ノ三倍即チ十五圓ノ罰金ニ處シ現在ノ煙草百五十匁ヲ沒收シ且金三郎ヨリ買受ケ賣捌キタル分ハ原價ヲ以テ賣捌キ代價ト看做シ原價壹圓八十一錢八厘ト他ノ賣捌キ代價二十錢ヲ合セ二圓一錢八厘ヲ追徵スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ原

價ヲ以テ賣代金ト看做シ追徵ノ言渡ヲ爲シタルハ不法ノ裁判ナリト論シ上告シタリ刑事局ニ於テハ上告ハ其理由ナキモノト認メ棄却シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク被告ハ無鑑札ニテ煙草小賣ヲナシタル者ニシテ此所爲ニ對シ煙草稅則第三十四條ヲ適用スルニ於テハ其罰金ヲ科シ及ヒ現在ノ煙草ヲ沒收シ賣代金ヲ追徵セサルヘカラス而テ其賣代金ノ不明瞭ニシテ其額ヲ知ルニ能ハサル場合ニ於テハ其價額ヲ定ムルト素ヨリ承審官ノ主權ニ屬シ即チ事實判定ノ一部ニ外ナラサルナリ故ニ原判官ハ其主權ヲ以テ被告ノ利益ニ從ヒ買入レノ原價ヲ以テ賣代金ト看做シタルハ尤適法ニシテ不法トナスヲ得サル者トス

煙草稅則違犯

明治十九年
乙第六百十六號

數箇ノ所爲ニ對シ數箇ノ判決ヲ爲スニハ各別ニ其證據ト理由トヲ舉示セサルモ可ナルヤ又出店ヲ設クルニ於テハ別ニ營業鑑札

ヲ願受クヘキモノナルヤ否
富山縣越中國上新川郡富山堀端町士族煙草小賣營業富崎湊ニ對
スル被告事件

初審 富山輕罪裁判所

本件ノ事實被告富崎湊ハ第一免許鑑札ヲ受ケス煙草ヲ製造シ第二其
煙草ヲ無印紙ニテ賣却シ尙他ヨリ買入レタル刻煙草ノ印紙ヲ剝取リ
無印紙ノ儘崩賣ニ爲シ第三妻トヨノ實家ニ出店ヲ設ケ鑑札ヲ受ケス
第一ノ煙草小賣ヲ爲シ第四金錢請取帳ニ印紙ヲ貼用セス明治十八年
三月ヨリ明治十九年六月迄使用シタルモノニテ明治十九年七月十四
日初審裁判所ニ於テ被告第一ノ所爲ハ煙草稅則第三十四條ニ依リ煙
草製造營業稅半年分七圓五拾錢ノ三倍罰金貳拾貳圓五拾錢ニ處シ現
在ノ煙草ヲ沒收シ第二ハ同則第三十五條ニ從ヒ罰金拾圓ニ處シ賣得
金九圓六拾壹錢七厘ヲ追徵シ第三ハ同第三十四條ニ照シ小賣營業稅

半年分貳圓五拾錢ノ三倍罰金七圓五拾錢ニ處シ第四ハ證券印稅規
則第十九條ニ依リ一年貳拾錢ニク年ノ貳拾倍罰金八圓ニ處スト言渡
シタル裁判ニ對シ被告カ上告ヲ爲シタル旨趣ハ四項ニ分記シ各判決
ヲ爲スニハ治罪法第三百四條ニ從ヒ各別ニ其證據ト理由トヲ舉示セ
サルヘカラス又出店ヲ設ケ小賣營業ヲ爲シタルハ被告カ小賣及ヒ出
賣鑑札ヲ受ケ營業スル所ノ業務ヲ擴張スルノ結果ニシテ稅則中支店
ヲ設ケ販賣スルヲ禁シタルノ明文アラサルヲ以テ第三ノ所爲ヲ罰
シタルハ擬律ノ錯誤ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ該上告ハ其理
由ナキモノト判定シ之ヲ棄却シタルモノニ係ル
其理由ニ曰ク治罪法第三百四條ノ規則タルヤ其明文ノ如ク事實及ヒ
法律ニ依リ其理由ヲ明示シ且一切ノ證據ヲ明示スヘキヲ規定シタ
ルモノニシテ別ニ是カ區分ヲ明示スルヲ定メタルニ非サレハ本件
ノ如キ四箇ノ犯罪ヲ斷定スルニ其證據ヲ毎々ニセサル限リハ一々其

證憑ヲ區別シテ掲ケサルモ原判文末段ニ心證ノ材料ト爲シタル證憑
 ナ明示セシ以上ハ之ヲ以テ右第三百四條ニ背キタリト云フヲ得サル
 ハ勿論特リ告發書ノミニ據テ判斷シタルニ非サルコトハ被告モ自認ス
 ル如クニシテ原判文ニ徴シ明確ナレハ毫モ越權等ノ處分ニ非サルヤ
 他ニ説明ヲ要セサルナリ又煙草稅則第六條ニ照徵スルモ彼一時出賣
 仕入ヲ爲スカ如キ業務ニスラ各自ノ鑑札ヲ要スルモノニシテ一ノ出
 店ヲ設ルニ該テ小賣營業ノ擴張ナリトテ鑑札ヲ要セザルトノ理由ハ
 万アル可キ道理ナケレハ小賣營業鑑札ハ一ヶ所ニ限り其効力ヲ有ス
 ルハ勿論ナルヲ以テ他ニ明文ヲ要セス出店ニ於テハ無鑑札コテ營業
 ナ爲スヲ得サルヤ知ル可キナリ故ニ原判官此法意ヲ認メ被告カ第三
 ノ所爲ニ對シ稅則第三十四條ヲ當行處斷シタルハ至當ニシテ毫モ錯
 誤ニ非サルハ勿論無罪タル可キ者ニ非ス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第千貳百七十五號

先代ニ於テ煙草製造兼小賣營業ヲ爲シ而シテ其代替セシ時鑑札ノ
 書換ヲ爲サ、ルモノハ製造營業ト小賣營業トヲ一所爲トシテ罰
 スヘキヤ又格別ニ罰スヘキヤ否
 長崎縣對馬國下縣郡國分町士族煙草製造兼小賣人松清恒作ニ對
 スル被告事件

初審 巖 原 支 廳

本件ノ事實被告松清恒作ハ明治十八年十一月十四日ヨリ同十九年一
 月十七日迄亡父惣右衛門カ生存中願受ケタル煙草製造免許同小賣營
 業鑑札ヲ以テ營業ヲナシ其代替セシキ管轄廳ニ届出書換ヲ爲サ、ル
 モノニテ明治十九年三月十一日初審裁判所ニ於テ煙草稅則第八條ニ
 違犯シタルモノト判定シ同則第四十四條ヲ適用シ煙草製造營業ニ付
 科料金壹圓小賣營業ニ付科料金壹圓ニ處スト言渡シタル裁判ニ對シ
 原裁判所檢察官ハ上告ヲ爲ス其要旨ハ煙草稅則第八條ニ違犯シタル

モノトシ同第四十四條ヲ適用シタルハ適法ナリト雖モ其煙草製造營業ト小賣營業トニ付キ各別ニ科料ヲ科シタルハ不當ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告論旨ニ基キ原裁判ヲ破毀シ煙草稅則第八條代替云々之ヲ管轄廳ニ届出其再渡又ハ書換ヲ請フヘシ云々トアルニ違犯スルモノト判定シ其第四十四條第八條云々届出ヲ怠リタル者云々壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ストアルニ照シ其範圍内ニ於テ科料金壹圓ニ處シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク上告事件ヲ審案スルニ煙草稅則第四十四條ハ同第八條等ノ届出ヲ怠リタルヲ罰スヘキ法條ナルハ其法文ニ因リ明瞭ナリ而テ被告カ代替ノ際右第八條ニ違犯シ其届出ヲナサス鑑札ノ書換ヲ請願セスシテ依然先代ノ營業ヲ繼續シタルハ原判文ニ認メテ明確ナレハ此所爲ニ對シテハ單ニ其過怠ノ罰ヲ科スルニ止マリ其鑑札ノ數ニ因リ各自ニ一罪ヲ構造ス可キモノニ非サレハ之ヲ一所爲トナシ稅則

第四十四條ニ依リ其範圍内ニ於テ相當ノ科料ニ處スヘキ者ナリトス然ルニ原裁判茲ニ出テス煙草製造ト小賣トノ二營業ニ付各別ニ科料ヲ科シタルハ擬律錯誤ノ裁判ナリトス

煙草稅則違犯 明治十九年
第一千三百五號

營業標札ヲ掲ケ煙草ヲ店頭ニ陳列スルニ於テハ未ダ賣捌ハサル

モ煙草稅則ノ制裁ヲ受ルヤ否

高知縣土佐國土佐郡本町百七十七番屋敷平民煙草小賣業近藤丑

太郎ニ對スル被告事件

初審 高知輕罪裁判所

本件ノ事實被告近藤丑太郎ハ煙草小賣營業中其營業稅不納ノ爲メ明治十九年二月四日營業鑑札ヲ取上ラレ該營業停止ト爲リタル後自家ノ店頭ニ煙草賣捌キ所ト記シタル標札ヲ掲ケ且營業停止以前ヨリ所持ノ玉造刻煙草拾三個卷煙草二十三函外ニ卷煙草貳千二百四拾貳本

ヲ陳列シ置キタルモノニテ明治十九年三月三日初審裁判所ニ於テ煙草稅則第三十四條ニ照依シ逋脫ニ係ル營業稅貳圓五拾錢ノ三倍ノ罰金七圓五拾錢ヲ科シ現在ノ刻煙草拾貳個卷煙草三拾三函ト貳千二百四拾二本ヲ沒收スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ上告ヲ爲ス其要旨ハ單ニ店頭ニ煙草ヲ陳列セシモ之ヲ販賣シタルニアラサレハ營業セルモノト云フヘカラス然ルニ同稅則第三十四條ノ犯則トシテ處斷セシハ擬律ノ錯誤ナリト主張シ原裁判所檢事ハ被告カ上告ハ其理由ナキ旨答辯シ附帶上告ヲ爲セリ其要旨ハ上告人ニ於テ刻煙草ト共ニ店頭ニ列シ置キタル卷煙草ハ煙草稅則ノ制裁ヲ受クヘキモノニ非ラサルヲ裁判官カ併ヒテ沒收ノ言渡ヲ爲シタルハ不當ナリト云フニアリ刑事局ニ於テハ上告及附帶上告トモ其理由ナキモノト判定シ棄却シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草小賣ヲ爲スノ目的ヲ以テ店頭ニ標札ヲ掲ケ刻煙草

及ヒ卷煙草ヲ陳列スル如キハ煙草小賣營業者ノ爲スヘキ所業ナルヲ以テ已ニ販賣シタルト否トヲ問ハス煙草小賣營業權ヲ犯スモノトシ煙草稅則第三十四條ニ依リ處罰セサルヲ得サルモノトス仍テ原裁判ハ擬律ノ錯誤ニアラサルハ勿論前ニ無罪ノ事實ヲ掲ケ後ニ有罪トシタルニアラサレハ事實理由ノ齟齬セルモノニアラスシテ上告ノ旨趣ハ相立サルモノトス又製造煙草ヲ自用者へ賣捌ク者ヲ煙草小賣人トスト煙草稅則第四條ニ明文アリテ其製造煙草トハ製造人ノ製造スル所ノモノヲ指シ云フニアルヤ論ヲ俟タサレハ卷煙草モ亦製造煙草ナリトス乃チ煙草稅則第二條ニ刻煙草又ハ卷煙草ヲ製造スル者ヲ煙草製造人トストアルヲ以テナリ而シテ煙草稅則第三十四條ハ營業鑑札ヲ受ケス煙草營業ヲ爲ス者ノ制裁ナレハ營業鑑札ヲ受ケス卷煙草ノ小賣ヲ爲ス者該制裁ニ依ルヘキハ勿論ニシテ附帶上告モ亦相立サルモノトス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第四十五號

四百六十四

脫稅ノ情ヲ知テ他人ノ煙草ヲ隱匿スルモノハ煙草稅則第三十六條ノ制裁ハ受ケサルヤ否(煙草稅則第三十六條ノ精神如何)

岡山縣備中國上房郡高粱鍛冶町平民煙草製造營業吉井兼松全縣全國全郡全所新町平民三島九三郎妻無職業三島ハナニ對スル被告事件

初審 岡山輕罪裁判所

本件ノ事實被告兼松ハ自家ニテ製造セシ刻煙草三貫八百目ノ脫稅ヲ謀ラシメ爲メ定期ノ帳簿ニ記載セス無印紙ノ儘實子ハナ方ノ土藏中ニ隱匿シ又ハナハ實父兼松ノ犯則ヲ容易ナラシムル爲メ該煙草ヲ自家ノ土藏ニ匿シタルモノニテ明治十九年四月二十二日初審裁判所ニ於テ兼松ハ煙草稅則第三十五條同第三十六條ニ依リ罰金十二圓ツ、ハナハ同第三十六條ニ依リ罰金十圓ニ處スト言渡シタル裁判ヲ不法ナ

リトシ被告兩名ハ上告ヲ爲ス其要領ハ兼松カ所爲ハ二罪俱發例ニ照シ一ノ重キニ從ヒ處分スヘキヲ二罪併科セラレ又ハナハ兼松ヨリ預リシハ室蓋ニテ煙草ヲ隱匿スルノ情ハ知ラサリシヲ前掲ノ如ク處分セシハ不法ナリト云フニアリ立會檢事ハ被告兩名ノ上告ハ其理由ナキ旨ヲ述ヘ附帶上告ヲ爲シタリ其要領ハハナニ對シ稅則第三十六條ヲ以テ罰金ノ言渡ヲ爲シタルモ同條第二段ハ帳簿ノ登記ヲ詐リ脫稅ノ便ヲ與ヘタルモノヲ制裁スルノ法律ニシテハナカ所爲ノ如キハ同條ノ支配シ得可キ限リニアラスト云フニアリ刑事局ニ於テハ被告兩名カ上告ハ其理由ナキモノト認メ之ヲ棄却シ附帶上告ハ其理由アルモノト判定シ治罪法第四百二十九條ニ則リハナニ對シ言渡シタル裁判ヲ破毀シ更ニ治罪法第三百五十八條ニ依リ無罪ノ言渡ヲ爲シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク抑モ刑法ニ於テハ數罪俱發セシ場合ニ在テハ一ノ重ニ

四百六十五

從ヒ處罰スト雖モ煙草稅則違犯者ハ同則第四十六條ノ特例アルヲ以テ數罪俱發例ニ依ルヘキモノニアラス故ニ原裁判官カ被告兼松ノ所爲ニ對シ二罪併科シタルハ至當ノ裁判ニシテ破毀スヘキ原由ナク其他被告兩名カ論旨ハ本件ノ事實ニ立入り原裁判官カ事實判定ノ當否ヲ非難スルニ過キスシテ素ヨリ其効之レナキニ付上告ノ趣旨ハ總テ相立タスト雖モ煙草稅則第三十六條ノ中段ノ精神ハ被告ハナカ實父兼松ノ爲メニ無印紙煙草ヲ土藏ニ匿シタル所爲ノ如キモノヲ云フニアラスシテ即チ帳簿ノ登記ヲ詐リ脫稅ノ便ヲ與ヘタルモノヲ制裁スルモノナリ然ルヲ原裁判官カハナニ對シ該條ヲ適施シ處罰シタルハ本院檢事附帶上告論旨ノ如ク擬律錯誤ノ裁判ニシテ破毀ノ原由アルモノトス

煙草稅則違犯 明治十九年
乙第七拾四號

煙草營業者ハ其家族及ヒ雇人ノ所爲ニ對シ如何ナル範圍迄責ヲ

負フヤ

長野縣信濃國東筑摩郡會田村平民煙草小賣營業小林瀧造ニ對スル被告事件

初審 松本支廳

本件ノ事實被告小林瀧造カ雇人小林新助ハ仕入鑑札ヲ所持セス明治十九年二月中松本北深志町木村秀太郎方止宿人住所氏名不知者ヨリ百匁玉刻煙草十五個ヲ代金壹圓五拾錢ニ買入レ内三個ヲ代金三拾六錢ニテ賣却セシモノニテ初審裁判所ニ於テ煙草稅則第四十七條同第六條同第三十八條ニ照シ被告瀧造ヲ罰金拾圓ニ處シ現在ノ煙草十二個ヲ沒收シ賣代金三拾六錢ヲ追徴スト言渡シタル裁判ニ對シ被告ハ上告ヲ爲ス其要旨ハ被告ハ其雇人小林新助カ稅則ヲ犯シタルノ當時ハ或ル被告ノ事件ノ爲メ長野縣監獄松本支署ニ繫留ノ身ナレハ監督ノ義務ヲ盡ス能ハス且小林新助ハ明治十八年三月以來明治十九年二

月頃迄休業セシモノナレハ被告ニ於テハ煙草稅則第四十七條ノ制裁ヲ受クヘキ理由ナシト云フニアリ刑事局ニ於テハ原裁判ハ事實理由ノ不備ナル違法ノ裁判ト判定シ原裁判ノ全部ヲ破毀シタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク煙草稅則等四十七條ニ煙草營業者ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ此規則ヲ犯シタルトキハ其營業者ヲ處罰ストアルハ即チ營業者カ其家族雇人ニ明任シ若クハ默任シタル營業上ノ事ニ付犯則ノ所爲アル場合ヲ云フモノニシテ其家族雇人カ全ク其營業者トノ關係ヲ離レテ自己一身ノ爲メ其委任外ノ事ヲ爲シタル場合ノ如キハ該條ノ規定中ニ入ラサルモノトス今原判文ヲ閱スルニ前掲ノ如ク被告カ雇人小林新助ハ仕入鑑札ヲ所持セス明治十九年二月中松本北深志町木村秀太郎方止宿人住所氏名不知者ヨリ百匁玉刻煙草十五箇ヲ代金一圓五拾錢ニ買入内三箇ヲ代金三拾六錢ニテ賣却セシ者ニテ云々

トアルノミニテ該雇人ハ仕入及ヒ出賣ヲ爲サシムル爲メ雇入レタル者カ將仕入又ハ出賣ノ一方ノミヲ爲サシムルヲメ雇入レタルモノカノ事實判然セサルノミナラス其煙草トテモ雇主即チ被告瀧造ノヲメニ之ヲ賣買シタルヤ又自己ノ利益ノヲメニ之ヲ賣買シタルヤノ理由明記ナキカ故ニ被告瀧造於テ法律上ノ責ヲ負フヘキ場合ナルヤ將新助於テ自ラ其罰ヲ受クヘキ所爲ナルヤ即チ新助自ラ無鑑札營業ヲ爲シタル事實ナルヤモ未タ保ス可ラス殊ニ煙草營業ノ如キハ製造仲買及ヒ小賣ノ三種ニ區別シアリテ同シ製造煙草ヲ賣買スルニモ之ヲ自用者ヘ賣捌クハ小賣業ナレモ之ヲ小賣入又ハ仲買人ヘ賣渡スハ即チ仲買業ナルヲ煙草稅則第三條同第四條ノ明定スル所ナレハ其買手ノ身分ヲ詳載スルハ最モ緊要欠クヘカラサルノ事實ナルニ該判文上毫モ之カ明示ナキヲ以テ愈本件ノ事實ハ果シテ如何ナル罪ヲ「構造スルモノナルヤヲ識別シ難ク隨テ原裁判ノ擬律其當ヲ得タルヤ否ヲ監査

更正スルニ由ナシトス

煙草稅則違犯明治十九年
第二百二十九號

被後見者ニ於テ煙草稅則違犯ノ廉アル場合ニハ被後見者ヲ罰ス
ヘキヤ將タ後見人其責ヲ負フヘキヤ

特別ノ法律ニ依リ刑ヲ科スルニハ刑法第五條ヲ適用シ該條ヲ揭
ケス單ニ特別法ノミヲ揭ケタルキハ不法ノ裁判ト爲スヘキヤ否
鳥取縣因幡國法美郡立川町一丁目平民煙草小賣營業三倉菊後見
人同立川町壹丁目士族武宮八郎ニ對スル被告事件

初審 鳥取輕罪裁判所

本件ノ事實被告武宮八郎ハ煙草小賣營業者三倉菊カ後見ノ身ニシテ
明治十八年十一月十八日一時雇山川文六長女ヨシヲシテ其自用者立
川町四丁目山田忠五郎ヘ煙草印紙ヲ取外シ即チ無印紙煙草ヲ代金五
厘分賣渡サシメタルモノニテ明治十八年十二月十六日初審裁判所ハ

煙草稅則第三十五條同第四十七條ニ該當スルモノトシ罰金拾圓ニ處
シタルニ被告ハ之ヲ不當トシ上告ヲ爲シタリ其要領ハ第一被告ハ煙
草小賣商三倉菊カ後見人ナレハ菊カ所爲ニ對シ民事上擔保ノ義務ア
ルモ自カラ煙草小賣商ヲ爲ス者ニ非サルヲ以テ煙草稅則ノ支配ヲ受
ク可キ理由ナケレハ菊ニ於テ犯則ノ所爲アル上ハ代人即チ後見人ヲ
召喚シ本人菊ヲ罰セラル、社當然ナルニ被告ヲ犯則者トシテ處斷セ
ラレタルハ事實齟齬ノ裁判ナリ第二特別ノ法律ニ依リ刑ヲ科スルニ
ハ刑法第五條ヲ適用セラルヘキニ該條ヲ揭ケス單ニ稅則第三十五條
第四十七條ニ依リ處斷シタルハ法律ノ理由ヲ付セサル裁判ナルヲ以
テ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ被告カ上告ハ其理由ナキ
モノト認メ棄却シタルモノニ係ル
其理由ニ曰ク煙草稅則違犯ノ如キハ家族雇人ノ所爲ト雖モ營業者ヲ
罰スヘキハ該稅則ニ定ル所ナレト幼年者ノ如キニ至テハ自カラ其業

務ヲ營ム能ハサルヲ以テ後見人ニ於テ專ハラ之ヲ負擔營業爲スモノナルニ依リ其監督ヲ怠リ規則ヲ犯スニ該リテハ後見人其責ヲ負フ可キハ當然ナリ故ニ原裁判官カ此法意ヲ認メテ被告ヲ犯則者トシテ罰シタル相當ナレハ之ヲ事實齟齬ノ裁判トハ云テ得ス又本案ヲ裁判スルニ刑法第五條ヲ適用セサルモ素ヨリ本件ノ如キ刑法ニ正條アル所爲ニアラサレハ煙草稅則ニ從フヘキハ論ヲ竣タサル而已ナラス該條ヲ適用セザリシトテ擬律上聊カ障害ヲ生スルモノニ非サレハ設ヒ該條ヲ適用セサルモ之ヲ以テ法律ノ理由ヲ付セサルモノトシ破毀ノ理由トハ爲スニ足ラス以上ノ如クナルヲ以テ該上告ハ採用スルニ由ナキモノトス

煙草稅則違犯 明治十九年
第貳百九十號

裁判上證據ヲ舉示スルニハ證據中何レノ部分カ犯罪ノ證據ナルカ其理由ヲ明示スヘキモノナルヤ又煙草稅則第四十七條ハ營業

本人ヲ罰シ後見人ハ其責ナキヤ否

和歌山縣紀伊國和歌山區本町壹丁目士族三宅榮之助同居妻煙草製造人「ク」後見人三宅榮之助ニ對スル被告事件

初審 和歌山輕罪裁判所
終審 大阪控訴裁判所

本件ノ事實被告三宅榮之助ハ第一明治十九年三月九日煙草製造營業者ノ標札ヲ戶外ニ掲出セス第二煙草製造帳簿へ明治十九年三月五日ニ業煙草壹貫目翌六日ニ同貳貫目同八日ニ貳貫目合計五貫目ヲ製造セシトテ記載シタルモ刻煙草七貫九百目ヲ製造シ貳貫九百目ノ脫稅ヲ謀リ帳簿ニ記載セス第三明治十九年三月十四日裝置シ得ヘキ無印紙ノ刻煙草三貫五百目ヲ所持セシモノニテ明治十九年四月廿八日初審裁判所ニ於テ被告第一ノ所爲ニ對シテハ煙草稅則第四十四條ニ依リ科料金壹圓五拾錢ニ處シ第二第三ノ所爲ハ同則第三十六條第三十

五條ニ依リ各罰金五拾圓ニ處シ差押ヘタル刻煙草外三點ハ被告ヘ還付スト言渡シタルニ被告ハ之ニ對シ控訴ヲ爲シタルニ明治十九年五月四日大阪控訴院ニ於テ審理ノ末控訴ハ其理由ナキモノト判定シ原裁判ヲ適當ノモノト認メタルニ被告ハ更ニ上告ヲ爲シタリ其要旨ハ被告カ第二第三ノ所爲ノ如キハ犯則ノ廉毫モ之レナク抑煙草ヲ製造スルニハ其刻ミ上ケタルキハ濕氣ヲ帶ヒ量目未タ確定セサルヲ以テ其量計ヲ知ルモ由ナケレハ帳簿ニ記載ヲ爲スノ場合ニ至ラサレハ之ヲ記スルニ由ナキ而已ナラス未タ裝置ヲ爲サル煙草ニ印紙ヲ貼用スヘキニ至ラサルモノニシテ之ヲ直チニ無印紙煙草ヲ所持セシモノト云フヲ得ス然ルヲ前記ノ如ク帳簿ノ記載ヲ偽リ脱税ヲ謀リ又ハ無印紙煙草ヲ所持シタリト判定セラレダハ事實理由ノ齟齬ナリ又被告カ犯罪申立書及ヒ公廷ノ陳述且告發書ノ如何ナル部分カ犯罪ノ證據ナルヤ其理由ヲ明示セサルハ不當ナリト云ヒ控訴院檢事ハ被告カ

上告ハ其理由ナキヲ答ヘ且附帶上告ヲ爲シタル其要領ハ煙草稅則第四十七條ニ依レハ家族雇人カ所爲ト雖モ營業者其人ヲ處罰スルモノニシテ後見人云々ノ明文ハナキモ本件ノ如キハ營業本人ヲ處罰スヘキモノナルニ後見人ヲ罰シタルハ越權ノ處分ナルニ依リ破毀ヲ求ムト云フニアリ刑事局ニ於テハ審理ノ末被告カ上告ハ其理由ナキモノト判定シ之ヲ棄却シ亦附帶上告モ其原由ナキモノトシ原裁判ヲ適當ト認メタルモノニ係ル

其理由ニ曰ク治罪法第四百十條第九項中ノ事實理由ノ齟齬トハ一判文中ニ犯罪構造ニ必要ナル事實理由ニ前後矛盾スルヲ指シテ法律適用ノ如何ヲ鑑別スル能ハサルカ如キ場合ヲ指稱セシモノニシテ今被告カ云フカ如キ判定ノ事實ト自己ノ事實ナリト認ムル所相抵觸スルヲ命令シタルモノニアラス又同法第三百四條裁判所ニ於テ云々一切ノ證據ヲ明示ス可シトアルハ承審判官ノ心證ノ資ニ採リシ證據ヲ

舉示スルニ止ルモノニシテ其證據中何ノ部分カ犯罪ノ證據ナリシ
 トノ理由ヲ明示スヘシトノ法章ニハアテザルナリ故ニ被告カ事實理
 由齟齬且不備ナリトノ論點ハ其理由ナキ而已ナラス原裁判官ノ判定
 セシ事實ニ對シ適用シタル法律ハ至當ニシテ毫モ錯誤ナキハ勿論一
 件書類ニ徵スルモ越權等ノ處分アリト認ムル點ナシ其他ノ論點ハ事
 實ノ判定及ヒ探證ノ當否ヲ非議論難スルニ止リ一モ上告ヲ爲ス適法
 ノ原由之レナキモノトス抑後見人タル者ハ無能力者ノ爲メニ撰任ス
 ルモノニシテ其無能力者カ身體財產上一切ノ事務ヲ管理スルモノナ
 レハ後見人カ正當ノ資格ヲ以テ爲シタル諸事ハ其損益利害共ニ無能
 力者ニ及ホスハ勿論ナルモ其所務中ノ責任ハ後見人ニアリテ家族雇
 人等ト同一視スルヲ得サルハ論ヲ竣サル所ニシテ無能力者カ營業ハ
 即チ後見人ノ所行ナレハ營業上ノ犯則ニ係ル責モ亦後見人ノ受ルハ
 當然ナルヲ以テ本按事件ニ付原裁判官ノ被告榮之助ニ裁判ヲ言渡シ

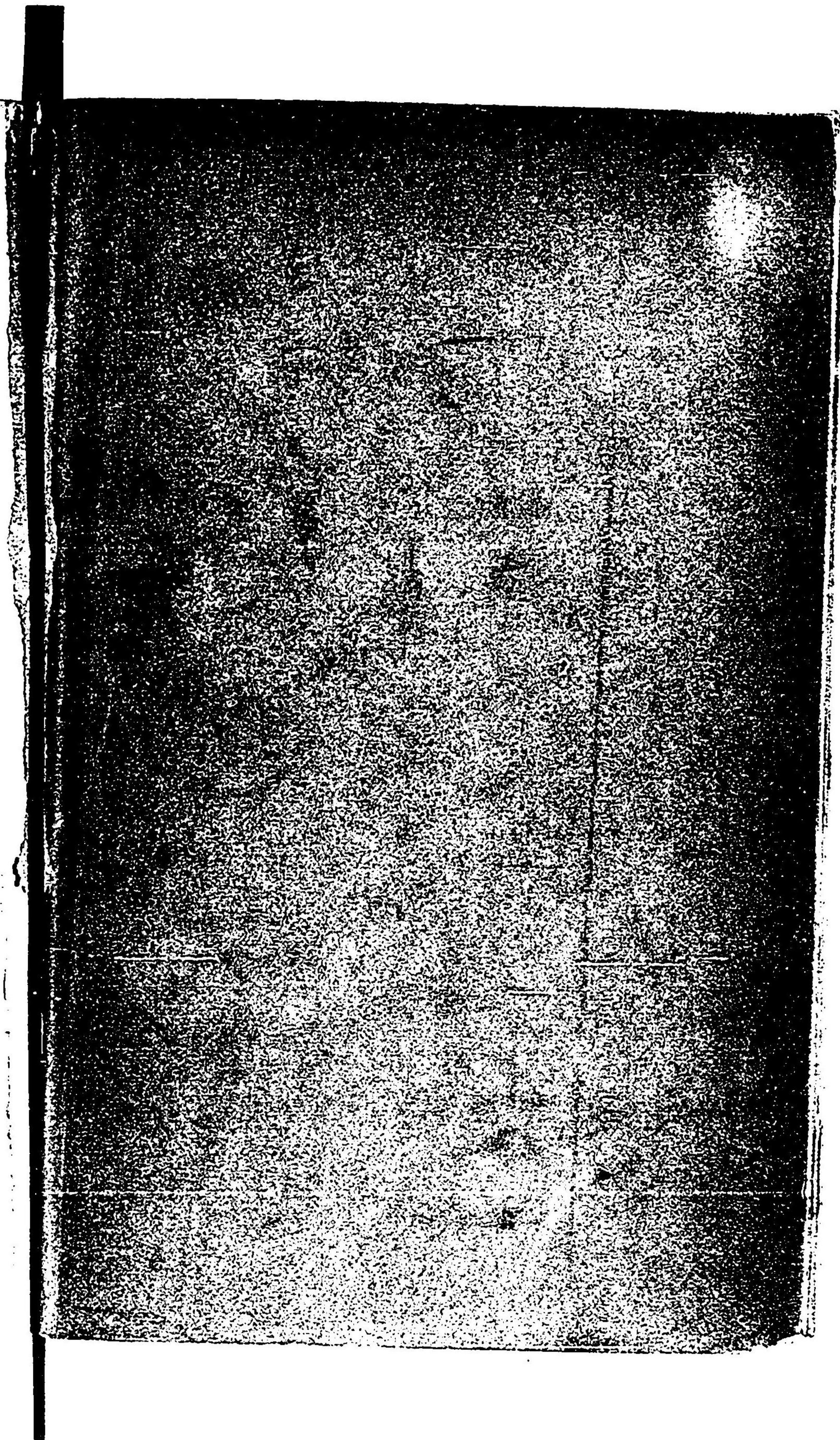
タルハ最モ至當ニシテ之ヲ越權ナリト云フヲ得ス故ニ原檢察官附帶
 上告モ亦其理由ナキモノト判定ス

17

版權登錄

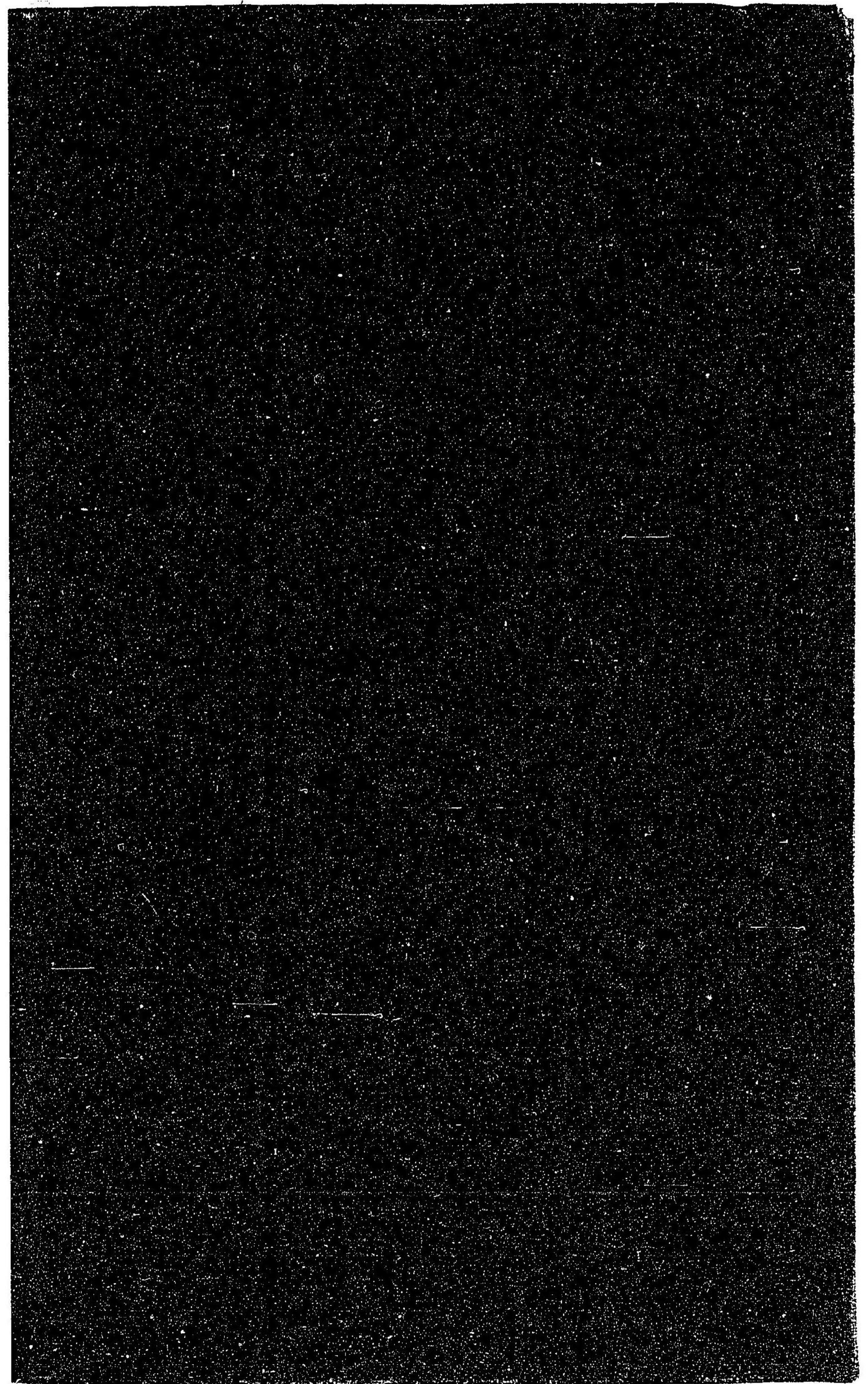
明治廿二年七月廿六日出版 司 法 省

東京京橋區西紺屋町二十六番地秀英舎印行



17

205



禁電子式複写

036555-000-3

CZ-2711-04

大審院諸罰則判決録

司法省

M22

BBR-0449



